無産階級戰闘雜誌

一部十錢

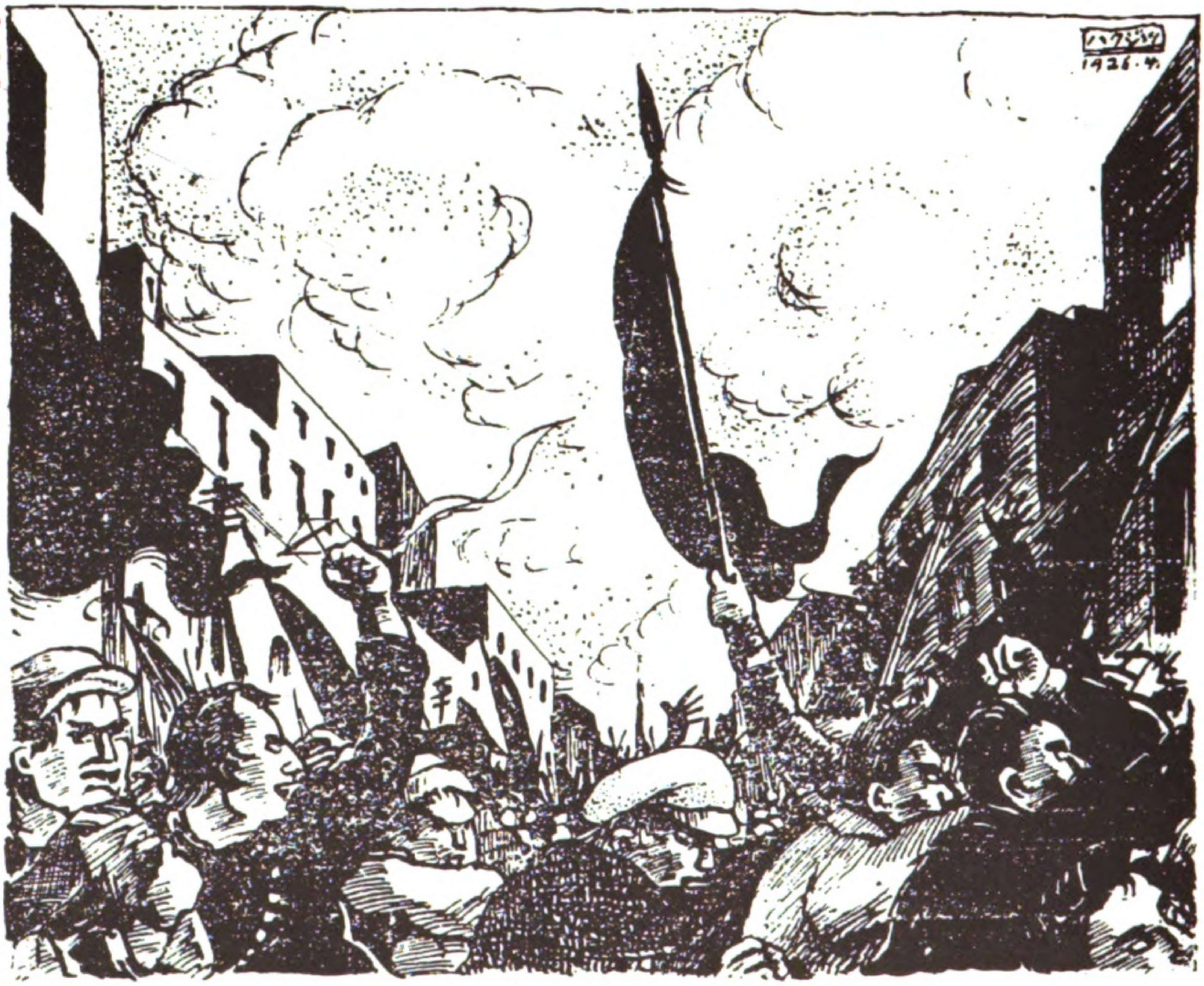
大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
第四年第五號 大正十五年五月一日發行

進め

國際的總動員の前に……卷頭言
落花紛々……同人時評
政治運動えの抗議……澤井甚之助
イン・プレ・コ……
批判と警戒……渡邊信義
農村の疲弊と青年の覺悟……湯原彥三
メーデーを迎えて……
反動雜誌の檢討……XYZ生
失業と瞞着的政會政策……岡本陽三
全線飛報……
農村に目を注げ……深海政夫
猛春斷筆……村山銀次郎
社會主義講話……石川準十郎

第四年 メーデー號 第五號

◆突喊！突撃！總攻撃！



◆敵も讀め！味方も讀め！

編輯室より

◇玆にメーデー號を同志諸君の前に贈る。震災前のメーデーに比して、それ以後のメーデーは、氣勢やゝ揚がざるの感あるも、それは外觀上の事にして、年と共に吾等のメーデーは現實的になりつゝある。吾等は全國の同志諸君と共に、大正十五年のメーデーを祝す。進め社一同も、轡を並べてメーデーに參加する。

◇諸君から期待なされてゐた、布施辯護士の「法律問答」と前田河氏の「ジョイ君の話」は兩氏とも多忙の爲めに、遂に締切期日に間に會はず、遺憾ながら六月號に廻した。加藤利藏君の論文も、同君がある事件の爲めに、現に未決に收檻中なので、執筆不可能の爲め中止しなければならぬ事になつたが、同君の出獄後に、必ずその續稿を掲載する。

◇吾社のパンフレットは、出版匆々にして、福田氏の「大衆と共に進め」が發禁の厄に遭ひ、目下改訂を急ぎつゝあるが、今又、春田正氏の「近世社會主義史」が四月十七日に發禁となつた。吾社は決してこの壓迫に屈するものではない。直ちに改訂版を準備中だから、遠からずして、福田氏の著と共に、諸君の希望に應じられる事と思ふ。渦原彦三氏（日本農民組合幹部）の「農民運動の戰術」も中旬頃には出せると思ふ。

◇マルクス肖像は申込多數で、品切の狀態であつたが、漸やく第二刷が出來上つたから、賣切れにならぬ讐に至急申込まれたい。「マルクス寫眞集」も近く出來上り發賣する。

◇五月號も亦、抹殺また抹殺で滿身に創痍を蒙ることであらうが、今日の彈壓治下に於て、手足を縛せられ、聲を奪はれてゐる吾等は、悲憤の涙を呑んで、時機到來を待つより他に術がない。同志諸君に於ても、之れを諒とせられて吾等と共に、其の時機を待たれたいものである。

◇終りに全國同志諸君の健闘を祈る。

◇

これまでながらく編輯していた松山君が、こんど、いなくなつたもんで、いやおうなしに僕がやることになつちやつた。

根から編輯の方にかけちや、なんの經驗もないもんだから、ほんとに、困ッちやつた。そんなもんだから、ロクなものはできないもんと思つています。

割付けや、活字の號數なんか、山川さんにきめてもらつて、いよ〳〵印刷屋へ渡してゲラ刷を見ると、足りない所もありやあ、餘る所もあつて、どうしていゝのか、タマゲちまつちやつた。それでも、まあ、これだけのものができたのは、同人諸君に負うた所が、非常なもんであつたことを多謝します。

そういふ譯なもんですから、氣に喰はぬところは、どし〳〵ヤッつけてもらひたいもんです。

本月はメーデー號として、內實ともに遺憾のないもんと思ひます。なかでも、高橋白日氏の表紙畫といゝ、望月桂氏の挿繪といゝ、戰鬪的氣分が横溢して、僕等の血を湧かせるに充分と信じます。兩氏に厚くお禮いたします。（〇生）

進めパンフレット

◇大衆と共に進め　福田狂二著　改版印刷中

◇唯物史觀略解　橋野昇述　一部拾錢　郵税二錢

◇近世社會主義史　春田正著　即時發賣禁止

以下毎月二冊宛發行の豫定

（多數又は團體注文は特に割引す）

全土に支局を募る

今や資本主義は、斷末魔的狂壓をもつて、吾々無產階級に殺到している。これに對し空拳の吾々は、何物を持つて抗すべきか。たゞ强固なる結束より外ないのである。こゝに、十萬餘の讀者を有する本社は、將く全土に支局を設置し、大同團結を圖り、もつて、來たるべき日の〇〇戰に準備す。

全國の同志諸君、諸君のため無產階級のため、この際至急申込まれんことを希望す。

マルクス肖像無代頒布　再版出來

コロタイプ寫眞版丈一尺五寸巾九寸

マルクスは科學的社會主義の始祖にして無產階級永遠の恩人である。吾社は最近原版を獨逸より取寄せ、復寫して讀者に配布することゝした。三、四、五月中に誌代一ヶ年分前納せし讀者に無代で頒布する。至急申込まれたし。

◇マルクス寫眞集　四六倍版アート紙美本　定價五拾錢　送料四錢

マルクスの幼時より死に至る迄の寫眞十數葉を蒐めたるものにして新思想家の座右に備ふべきは勿論我等の永久に記念すべき貴重なものである。

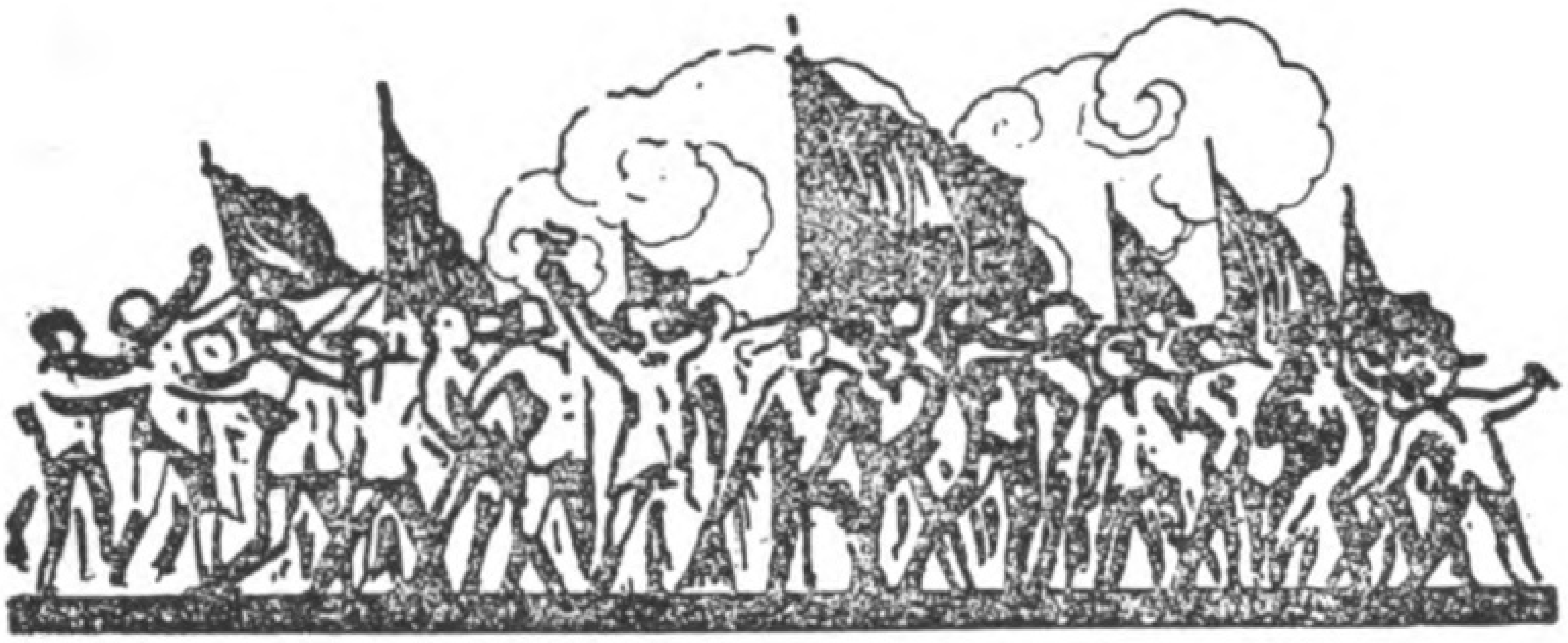
◇社會思想家寫眞集　四六倍版アート紙美本　定價五拾錢　送料四錢

サンシモン、フエリー、オーエン、モリス、マルクス、バクーニン、エンゲルス、リープクネヒト、クロポトキン、ラツサール、レーニン、トロツキー等

無産階級戰鬪雜誌進め

大正十五年　五月一日

第四年　メーデー號　第五號



國際的總動員の前に

——資本家をして戰慄せしめよ——

メーデーは來た。

三百六十五日の間、一日として息吐く暇もなく、搾取に搾取を重ねられてゐる、吾等無產階級にとつて、この五月一日こそは、全世界の無產者と共に、友愛と團結の旗下に集つて、ブルジョアジイに對して吾等の威力を示す日である。その旗は裂けたりとも、その衣服は破れたりとも、それは目覺めたる無產者が、未來社會に對して懸命の努力を誓ふ日である。

その步武の堂々たるを見よ。その行進歌の、資本の牙城に向つて突進する響を聞け。これこそは眞に未來社會への曉の鐘の音である。この鐘の音の聞ゆる所、一切の勞働は休止されて、ブルジョアジイは吾等の威力の前に震へるであらう。

吾等のメーデーは、勞働者の爲めのお祭りではない。現代資本主義社會の下に於て吾等は一年の間、辛ふじてこの一日だけを無產階級の手に獲得したる意義を考えて、メーデーをして眞に吾等の日たらしめねばならない。

それは吾等無產者が、未來社會への豫行演習であり　資本主義社會に對しての挽歌である。勞働者よ、汝の手から鐵槌を棄てよ。農民よ、汝の手から鋤鍬を放せ。然して、メーデーの一日をして、完全に其の意味する所のものを、全世界のブルジョアジイに知らしめよ。

今や澎湃として全世界を洗ふ、反動の勢力は如何に吾等無產者の生活を脅威するとも、畢竟それは過渡的現象に過ぎぬ。歷史の車輪は、その必然に向つて廻轉するであらう。吾等無產者は、その歷史の必然性を確信して、今年のメーデーを迎へんとする。

國際的無產階級總動員の前に、全世界の資本家をして戰慄せしめよ。斷じてメーデーは無產勞働階級の爲めの祭りではない。メーデー旗の下に集る、十幾萬の全日本の勞働者よ。この五月一日と云ふ日にだけでも、海外幾百萬の勞働無產者と協同して、プロレタリア解放運動の爲めに、一切を棄てて等しき戰線につけ。

時は新綠、薰風に送られて、吾等のメーデーは來たる。吾等は再びこの日に際會して、その喜びを全無產者と共にすると同時に、新しく階級戰の爲めに、この一身を捧ぐることを、同志の前に誓ふであらう。

メーデー來る、メーヂー來る。無產青年よ、赤旗の下に集れ！

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

落花紛々

（同人評語）

後藤新平と新政黨

後●●●藤新平は新しい事をやりたがる男である。露西亜のヨッフエを呼んだのも裏面は兎に角、表面に立つたのは彼だ。それで一角露西亜通のやうに思はれたり、赤化け團あたりからは赤化宣傳のやうに思はれたりした。が、彼れは別に露西亜國情に明るい譯でもなければ、社會主義に理解などのある男でももちろんない。

最近の新聞に依ると後●●●藤新平の新政黨樹立騒ぎが何だか物になりさうだ。後●●藤の睨ひ所といふのは言ふ迄もなく普選實施後に浮び上る三百萬の新有權者を取り込み國民の輿望を擔つて政界に乗り出そうといふに在る。それには先づ既成政黨とは全く質を異にした新政黨たることを國民の頭に叩き込まうといふのだが、國民たるものは一つ眉に唾を附けて、彼れのかついで出る新政黨といふ奴が本當に既成政黨とは全く別個の新物であるか、新衣を装ふた腐物であるかを見拔いてやる必要がある。

既成政黨が心ある國民から愛想を盡かされたといふ事は爭はれぬ事實である。といふのは何も議會の醜體に愛想を盡かした事ではない。もつと深く、國民の生活問題に出發するのだ。即ち國民の生活の今日の如く甚しい窮迫に對して、どの政黨も何等ほどこすべき策を有つて居らぬ。そこで、心ある國民は既成政黨の存在理由に、疑惑の眼を有ち出したのである。また事實、國民生活を餘所にして政黨の——政治の——存在理由はドコにもない筈である。ここに既成政黨打破の聲が起り、新政治勢力擡頭に對する要望が起る。

然らば新しい政治勢力とは何か。それは資本主義的經濟政策とは別な、といふよりも全く相反して對立關係に立つ無產階級的經濟政策を有つて現はるべき政治勢力でなければならぬ。何故ならば、國民生活の行詰は資本主義經濟の行詰に發足し、之の打開より始めるのでなければ、國民の生活は必然に向上はおろか低落の運命にさえあるからである。然らばその打開策は何かといふに、それは無產階級（國民と言つてもいいと私は信ずる。）を本意とする新しき產業振興策を斷行するより他に路はないのである。例へば

一、鑛業、動力、運輸、交通の公營
一、米穀、繭、酒の政府專賣
一、肥料、農具の公營
一、金融機關の公營
一、生命、損害、農作物、失業、疾病等一切の保險業の公營
一、都市住宅及び土地の市營
一、病院、賣薬、助產、埋葬の公營
一、日常品市場の公營

右の如きは今日國民の擧げて要望する所の個條であると信ずるが、これ等を政策として現在の政界に乗り出す政黨であるならば、それは先づ我々の許し得る新政黨であらう。若し、國民の生活向上と相關連する何等の政策を有たず、所謂政黨屋共の空虚を聞くに堪えざる氣焔を以つて立ち現はれるものならば、それ等は既成政黨と同穴の狐と斷じて宜しいのである。つまり要は國民本意か資本家本意かといふことが新舊眞腐の別れ目を作るのであることを、國民は心して自覺しなければなるまい。

後●●●藤新平は目下「新政黨」の樹立に奔走中だと傳へられ、このためには、家財までも賣り飛ばす決心だと傳へられて居る。まことによい心掛けといふべきで、彼れのために何等か力添へをしたいとすら思ふのであるが、それは、彼れの政黨の政策と行動の如何によることだ。が、彼れと共に之に力を致さんとする所謂後藤系なるもののガン首

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

を一瞥すると、いやはや、いづれを見ても何とやらで、無産階級のお役に立ちそうな物は一つもない。普選でも實施されたら、●●後藤と限らず、この種の「新政黨」が續出することであらうが、凡そ滅亡階級を捨て得ない者は(たとへ家財は捨てても)所詮新興階級の力ではないのである。

農民組合の分裂と勞働農民黨の危機

當然分裂すべき必要を含んで居た日本農民組合は、去る三月末の山梨大會を火蓋として、遂に山梨聯合、福岡聯合、中部農民等を先鋒とし、群馬、島根、新潟、千葉、長野、埼玉、愛媛等の各一部相次いで分裂し、次いで四月十、十一日の兩日に亘つて東京協調會館に於て上記農民組合の新團體組織協議會が開かれ、新たに『全日本農民組合同盟』が成立するに至つた。此處に我國無産階級運動は漸やく決定的分裂に入つたものである。

何故ならば、農民組合は今迄かの紳商共産黨一派が全力を盡してその最大策城に利用せんとして居たものであつて、これが分裂はその希望の根本的動搖乃至消滅を意味するものであり、從來農民組合の中間的曖昧な態度に組合情誼上引きづられて行つて居た觀のある反共産黨勞働組合殊に總同盟をして斷固たる態度を決せしむる力を與へたからである。

我々はこの分裂の社會的無産階級的當然理由に就て此處に今更繰り返すものではない。それは昨年以來我々が『日和見主義者』『反動』『裏切者』の仲傷讒誣を覺悟しつゝ且現實にそれを受けつゝ率先して主張し來つた所のものである。我々は斯の如き過程を經たその將來の發展に、眞の正しき無産階級運動を期するからである。只一言敢へて言ふならば、日本共産黨をして遂に此處に至らしめたものは、主として日本共産黨自らに他ならなかつたと云ふことである。共産黨であらうと總同盟であらうと無産階級に對してその職能を背棄したものは、その發展途上に於て淘汰されねばならない。

さもあらばあれ、この新たなる全日本農民組合同盟の成立は先に成立された勞働農民黨に對して、一個の致命的な危機を孕んで居るものである。全日本農民組合同盟はその成立に際して早くも、全く共産黨一派を排除した新たなる無産政黨の樹立を決議して居る。而してこれは正に當然のことであると共に、少くともその一半を失つた日本農民組合は、既に加盟當時の日本農民組合として他組合の間に適らないからである。來る可き勞働農民黨の委員會には必らずこの反響を何等かの形に於て示すことと思はれる。

最後に我々は尚、今回の日本農民組合の分裂を以つて日本農民組合分裂の第一段となすものである。何故ならばそこには尚當然分裂すべき多くの部分を殘して居るからである。日本農民組合は須らく態度を明らかにすべきである。それと同時に全日本農民組合同盟は、誠心誠意を以つて兄弟の去就を迎ふ可きであると思ふ。

「日本」を滅すもの

◇『日本』は今や陣痛の時代にある。國内に於ては政治經濟學藝共に、行詰りの狀態に陷つて、各人悉く焦燥と不安に追ひ驅られてゐる。今日の政治を如何樣にして打開し行く可きか、今日のこの不景氣を如何にして盛り返す可きか、今日の思想界の頽勢を如何にして防止す可きか。總理大臣も大藏大臣も文部大臣も、其他の各大臣名士連も、一人として一寸先の見えてゐる者がない。要するに腹が痛むからモルヒネだ、と云ふ程度の療法しか知らない。盲目が杖なしで一人歩きをするのが、今日の『日本』の國内の現狀である。

◇隣國支那では、國民軍總崩れ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

となつて、駐支大使カラハンは其任を新しくラデックに譲るだらうとある。さてさて張作霖と云ふ男は、運の強い男ではないか。郭松齢の時にも、奉天軍は一息に押し潰されさうな瀬戸際まで行つて、一夜にして大勢は急變して、郭軍は大敗。今度も國民軍が愈々北京に乘込む段取となつてゐて、一日の間に總崩れ。このカラクリは抑々何であらうか。支那全土に暗中飛躍する列強の資本戰に想ひ到るならば、走馬燈の如き支那政界の事情もカラクリも、此れが目鼻が附いて來るであらう。

◇それにしても『日本』は外は、ロシアの『世界革命の理論と實際』に脅され、英米の資本に驅逐されながら、内には國民に臨むに彈壓とスパイ政策とを並用して、民心をして不安ならしめ、忠臣藏や維新勤王劇を暗に鼓吹して、思想の攪亂を試み、青年軍事教練では、白晝の下に公然と○○に對する準備をしてゐる。

◇周章狼狽にも程があらう。『日本』を滅すものは、吾等『不逞なる主義者』ではなくして、君達『忠良なる日本臣民』であるかも知れない。殷鑑遠からず、帝政ロシアの官僚、帝政ドイツの軍閥が、そのよい例證だ。しつかりしろ『日本』！

解り切つた事

『不景氣に正比例して刑事事件は殖える、智能犯が増加する巡査も殖やしたし交番も殖やした』とは警視廳の言ひ草であり、その念願である。が、警視廳初つて以來大官闕件の僞獄、例へば山本のシーメンス事件の古い所から、田中の三百萬圓事件、松島事件の新しい所に至るまで呑舟の魚は何時も警視廳などの網にヒッかゝつた例は未だ曾て無い。

昔しは盗人や宿無しや無頼漢をシバル丁度今の警視廳の仕事を御商賣にしてゐる者共を『岡つ引』と云つた。『岡ッ引』とは昔の人こもウマイ事を云つたものだ。

岡なぞにゐていくら懸聲勇ましく引ばつた所でそんなアミに鯨なぞの入つて來様ないことは昔の人こも御存知だつたものと見える。

× × ×

初産は心配なものである。バケツを下げては？コロンデは？冷えてはと。

色々と亭主としては注意はあるであらうが、そこが無産政黨、無産階級の世帶である。破乱＝でゐる婦にすらバケツも下げさせ、テナベも持たせ、使ひにも行つて貰はねばならぬ所に無産政黨の生き甲斐がある。それで生れた『子』に一增の愛がある理でもある。

『子』を産むに當つて唯れしも洋食を喰ひ。紅茶を飮みながら産めないのであつて見れば、産む際の陣痛は覺悟の事であらねばならない。そして諸君は、勞働農民黨を誕生せしめた今日にあつて、未だ歩かない勞働農民黨に、赤い鼻緒の下駄を穿すべきか、黄い鼻緒？黒の鼻緒？と云ふ様な準備委員會を今日も明日も開らき。『激論の末つひに議纏らずに散會』を繰り返してゐる事は、無産政黨を育てる『ウバ』役である委員諸君に對して、無産階級である無産政黨の父は『グッ』『ノロマ』『無定見』と云ふ言葉を投げざるを得ない。

そして生みの苦しみにもまして、産れたる然も歩かざる、歩かしめざるウバ役に對して、父なる我等無産階級は強き憤りを感じつゝあるものである。

『子を託され、子を育てるの格あるもの』は子を育てるに當つて一定の定見に依る態度を必要とする事云ふまでもあるまい。ウバ役諸君にそれだけの自負有りや無きや？を今に至つて民衆は問ふ者である。

何故かなれば四月十九日中央新聞は建國會、即ち上杉愼吉なる反動の灯持提ち等の祝辭めいた勸告狀を受ける如きは無産階級にたいする一大侮辱であるからである。花の散る頃だ上杉が狂つた。それで形が附ければそれでもいい。然し勞働農民黨にして若し一定の定見ありとすれば、上杉等に飽迄で斷々呼たる態度に於て挑戰すべきである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

メーデーを迎へて

渡部あきら

爆破する音のよろしさ
天地のねむりをさます音のよろしさ

○

血だ、赤々と、旗に滲んだ
その旗の下に集まる無産者の群

○

血と汗で生きる生命の尊とさを
しみじみと思ふ五月一日

○

血祭だ生きるためならぜひもない
友よやれやれ、今日はメーデー

メーデー

田中貞吉

一、感想

東京に初めて、メーデーが、行はれてより今日に於ては、全國津々浦々に形式の差こそあれ、殆んど行はれざるところなきに至つた事は、解放戰上力强いよろこびである。

而し過去の關西地方に於けるメーデーが主義主張の相異のためとはいへ同一地域に、別箇に行はれたことは、甚だ遺憾であつた。幸ひ東京に於けるそれが、最初より全團體の、共同の下に行ひ來つたことは、理論の多い東京として、大なる誇としなければならぬ。まして昨年度に於ける東京のそれは、標語として何ら顧みなかつた全國勞働組合總聯合さへも標語に加へるに至つた事に於いても、是非共各地の諸君が何を措いても、メーデーだけは、協同でやつて貰ひたいと思ふ。

二、希望

一、現在言論に對しての自由は、常に官憲に依つて拘束されてゐる。この時に當つて吾々の集會だけは、お互に主義の相異に依る異說も堂々と、主張させる雅量がほしい。

二、僕はメーデーを、勞働階級の定期大會としたいと思ふ。當日は一齊に各組合の垣をすてて、全勞働者としての重要な二三の議案を審議決定し（議案はあらかじめ組合會議あたりで交換して置き全國同一のものにしたい。）特にメーデーとしての代表二名位を其の場で選び、示威運動終了後適當の日を選んで、各地の代表者が一堂に會し、全國協議會でも開催したら、自然的總聯合の促進となり、大きな面白い仕事も出來ると考へる。そして無論農民組合も加はる可きだと考へてゐる。

第七回メーデー來る

望月源治

メーデーの歷史は早四十年の古き歷史を有するに至つた。其の歷史中に特に威彩を有するは一九〇六年彼の第二インタナショナル本部のメーデーに關する宣言を萬國の同志に布告した一說である。

『……五月一日の示威運動は資本制度に對する定期の警告である。勞働階級はこれに依りて其の解放を要求する確乎たる信念を表明し、併せて、この信念が

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

國際戰爭の如き誘惑物に依つて決して惑亂せられぬことを宣言する。この示威運動は各國のプロレタリアートの團結によつて始めて勝利を得、かくてプロレタリアートをして全世界に平和と自由とを與へしめることが出來る……』

日本のメーデーは大正九年を以つて第一回とする。然して本年は將に七回目である、かつて米國の勞働者達が一八八六年『八時間勞働制の即時施行』を目標として此の運動の旗上げを開始したのであるが、四十年後の我日本では今だに此の標語の實施を迎ふることは出來ない。

日本政府は、國際平和會議に於て日本も八時間制を必ず施行します、と公約してゐる、だが一片の意志表示に終つてゐる。

見よ報わるる事のおそき日本の勞働事情を。

されど年々に擧行さるる我等がメーデーは決して沈滯、卑怯柔弱ではない、寧ろ其の數に於て、示威せらるる場所の擴大等を見ても、非常なる發展振を示してゐる。併し乍ら全組織勞働者の現狀は三十萬人を算するに過ぎず、大多數の勞働者、農民は未組織のまゝに放任せられてゐるのである。

勞働階級の解放と其の要求とは與へらるるものに非ずして獲得すべきものである。

見よ現下の狀態を？ 專横慘忍なる資本家階級は八時間制實施のかわりに、失業と、賃銀値下とを强要し我等が生活を餓死の淵に沈ましつつある。

對立せる二個の力、勞働運動は不斷に資本家並支配階級と戰はなくてはならぬ、未だ日本の勞働者の陣營は眞に資本家をして戰慄せしめんには力少き時代なのだ、勝利を迎へんとする者は敵を倒さねばならぬ。

地主をして我等が土地の上に狂死せしめよ。

資本家をして生産の音響に耳破らしめよ。

全勞働者の一日の生産停止こそ資本家利潤の黑ヴエールをはぎ取るメーデーの眞威力である。

日本第七回メーデーを迎ふるに際し組織勞働者諸君に訴ふ、組合員にしてメーデーに加わらざるもののなき事を期せ。

勞働組台にして全員を參加せ

メーデー行進曲

村山富美雄

ドヽヽヽン……ドーーン
ドヽヽヽン……ドーーン
オヽ……響き渡る大砲の音
煤も大都會の眞中で
朝の大氣を破つた
人生の爭掠戰が始つた。
渦巻き起つて天を覆へす毒瓦斯
飛び歩るく建物……建物
埃の中を走る
石碑の化者みたい自働者。
(あゝ……墓場……墓場……墓場
白骨をあさつてうろつく……
犬……犬……犬……)
オヽ……車のきしめき
大地の狂動
斬り合ひ
突き合ひ
唸る咽ぶ

馬の尻を叩いて怒號する叛逆者
正義の袋を破つた人道主義者
青白い魂を田角串しにした宿命論者
智慧の袋を背負つた藝術家
地球の表面を耕す百姓
金錢盲慾の白旗立てたブルジョア
オヽ……闘だ……
……闘だ……
憧憬と慾望の亂闘場に
素裸のプロが
地球を背負つて飛び込んだ
バラリ〳〵
地球の破れから飛び出す
頭……頭……腦味噌
吹き出る……血潮……血潮……
固る血塊……
オヽ……それだ……
俺達プロに與へられた
新世界を建る信念の武器は——

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

しめ得ざるは階級道徳、鬪爭的訓練の微弱なることを以つて公然と攻めよ。

一人の狂燥者を勇敢なる者として敬ふ勿れ。

資本の生産的統一破綻こそ我等の最大なる威力なれば、協力一致せる集團をこそ讃美せよ。

我等の陣營は前日の内に堅めねばならぬ。かくてこそ粛々たる大軍の歩武に資本の陣營は亂れ退き然して戰慄するであらう。

メーデーに就ての希望

純勞働者組合　大久保生

毎年の示威運動に依つて我々勞働者又社會一般に、段々深い印象を與へつゝあるメーデー、此れは我々の日だと言ふ、而して其の今年のメーデーも早目前に迫つて來た。

勞働者の日だと言ふ此の日一體我々は何を成さんとし、如何な態度で望まなければならぬか

メーデーの起原はアメリカの勞働者が、團結の威力と赤い血潮の犠牲に依つて、八時間勞働制を獲得した日だそうだ、而して此の日は勞働者の向上運動上に一新紀元を畫した日だそうだ、果して然らば此のメーデーは我々勞働者が、自己の力を自覺し其の力に依つて、幸福への一歩を史上に印した日だ、而して我々が其のメーデーに騒ぐのは、此の日の意義を忘れずに記憶すると同時に此の自覺に依つて將來への運動を畫すべき日だ。

我々は現在の社會制度の下にあつての時間の短縮と勞働條件の維持改善だけでは、我々の眞の幸福が得られない事を知つて居る。メーデーは團結の威力と先覺者の赤い血潮とに依つて、勞働者に有利な條件を獲得した日だ、我々は此のメーデーから此の日に紀念されて居る精神と勇敢な實行力とを學ばなくてはならぬ。而して我々はアメリカの勞働者が目的の爲に勇敢であつた樣に、我々も現在の目的に猛進すべきである。

我々の目的とは然らば何か、其れは只單に、現在を彌縫政策に依つて糊塗し一時凌ぎせんとするものではない。人間本然の要求と社會制度や經濟組織に對する厳正な批判から得た、眞の自由自主自治的の社會の實現である、我々の望みは遠く而して大きい。茲に我々は現在の社會運動者殊に勞働組合の現狀に對して甚しい不滿を感ずるものである。

口頭政策や主義のマスターヴエーションに耽つて居る時ではない。メーデーは我々に何を敎へたか、自覺者の行爲と大衆の團結の威力ではないか、此の力に彼のブル共が何程脅威するかに依つて、我々の目的の達成があり、又此の精神の宣傳に依つて將來への心强さがあるのだ。

又此れを成す日がメーデーだ。

遠大な望みと强大な敵とを前にして、内部に於いて右傾左傾の爭いや、幹部の勢力爭をして居る事に對しては憤滿と嫌惡の情を禁じ得ない者である。僕のメーデーを前にしての希望は、敵を知り、自己を自覺し、勞資戰上に右傾左傾や勢力爭を斷然止して、同一階級者の同一行動である。而して理想への勇敢な行進である。此れが我々のメーデーを前にして行なはねばならない仕事である。

自覺者の眞面目な而して勇敢な行爲こそ我々の唯一の武器である。

一九二六、メーデーを前にして

今日の〇〇祭

藤本龍雄

メーデー何んと聞くだに心持ちの好い言葉では無いかしかもメーデーは勞働者の日無産大衆の祝祭日だ。

一年三百六十五日の間に吾々無産者全體の祝福日は唯今日の一日だけしか無いのだ。

日本は世界中で祭日の多い國であるその祭日の中に〇〇〇〇〇〇もある而し之れらの祭日は吾々無産大衆の生活に×××××××××××××××××××××××××××××××。

××××××××××××××××××××至るまで集めて何千兩何萬兩と云ふ莫大の錢(窃盗した錢)をオーピラにフリマキ美衣美食淫荒に消費して彼等が遊びまわる祭日なのだ。

斯の如き狡猾な輩等を一彈の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

もとに挫じかんとする反逆の祭日メーデーは一八九〇年以來全世界の無產大衆が團結し階級意識を强めて暴虐非道のブルジョアの陣營に迫つて搾取と虐殺とに對する抗議の祭日だそれと共に大衆が自由意志の基に次の新社會を建設する準備の××祭だ

××祭の意味が全國の人々の腦裏へ深くシミ込んで空中高く反逆旗を翻す時に我々の社會が自然に出來上るのだ此の記念祭が世界でも一番專制の國家たる×××××××××の國家である日本に××日が今度迎へられた一年ごとに無產大衆の威力が日增し擴大してさしもの〇〇も風前のトボシビと迄に壓しツプス事が出來るまでに成つて來た××××××××××××××××××××××××××。

メーデー未來記

山川亮

『オヤ、こんな筈ではなかつたッけが、何うしたことだらう』と如何程、水道栓をひねりなほして見ても、首を傾けかへて見ても、ポトリとの水も出て來ないのだ。せめてパンでも燒かうと入口へ行つて函を見ると、何時もの場所にはパンが入つてゐない。

『畜生、誰か盜みやがつたのかな』と舌打して忌々しく、新聞を見やうとすると、新聞の姿も見えぬ。

『今日は恐ろしく不思議な日だ。水道からは水が出ない。パンは何處かへ粉失するし、新聞はもう八時になるのに、まだ配達しても來ない。畜生、昨夜の殘りのコーヒでも温めて、空腹をごまかしてやらう。』

かう思つて瓦斯栓をひねつて、マッチを口に持つて行つたが、マッチだけがずんずん燃えるだけで、プスリともポッともつく氣勢がない。そつと手を口に當てて見ると、何の事だ。瓦斯は少しも出てやしないんだ。

水がなし、火がなし、食物がなし、新聞がなし、で無いものだらけだが、不圖、頭の上の暦に氣がついて見ると、何の事だ

今日は五月一日だ

成程、今日はメーデーだ。水道屋が、瓦斯屋が、そしてパン配達人が、新聞配達人が、メーデーの爲めに同盟罷業を、やつッけたんだ。

早速、家を飛び出して、銀座通りに驅けつけると、あの自働車電車の織るやうな平常の銀座は、何處かへ引越して終つて、まるで大動脈を切斷されて、靜かに橫はつた巨人の骸のやうに、音一つ響かない靜かな街だ。電車線路の上には、電車の影一つ見えない。市街自働車の停留場には、赤い標識だけが、寂し氣にポッネンと立つて、新聞賣子も、何處かで今日は集會でもしてゐるのだらう。チリンと鈴の音一つ聞えない。

平常なら毒々しい煙を吐いてゐる工場の煙突からも、一筋の煙さへ立昇らず、まるで枯木のやうに林立してゐる。カフエーも休業だ、レストランも休業だ、菓子屋も、パン屋も、食料品屋も、悉く休業だ。ぞろぞろと街路を歩いてゐるのは、ブルジョア階級の紳士淑女だけだ。それも空腹を辛棒して、元氣の無い顏で歩いてゐる。

『如何です、ブルジョア諸君よ。諸君は平常は勞働者を犬猫のやうに待遇して御出でですが、その人間以下の勞働者が、メーデーを祝ふために一寸罷業をやると、諸君は飯も食へず、車にも乘れず、お弱りですな。然しこんな眼に遇はされても、諸君は必つと腹の中では『怪しからん奴だ。公衆の爲めの機關を勝手に休むなんて、何と云ふ野蠻人共だ』と怒つてお出でせう。然しその野蠻人のお蔭で、諸君は平常、何の不便も苦勞もなく、安樂に生活してゐられるのだとは、まだお氣が附きませんか。

×　×　×

夜になつたが、電燈がつかない。電氣の從業員が、メーデーを祝つてゐるのだ。ブルジョア諸君は、朝から水も飲めず、飯も食へず、夜になつてからは、眞暗闇の中で、もぞもぞと原始民族のやうに、蠢動してゐるだけだ。

だが、早くこんなメーデーが來ると、完くいいのだがね。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

猛春斷章

村山銀次郎

亡滅日本救策

大川周明の雜誌『日本』に「幻滅」と題してこんな事が書いてある。在郷軍人諸君の爲にその一節を摘記する。曰く『私は少年時代、軍人になるのが理想であつた。陸軍大將とか海軍大將とかいへば實に立派な人格者そのものと思ひ込んで居た。

その美しき幻想は先づ北淸事變當時の馬蹄銀事件によつて破られた。山口素臣といふ中將や栗屋幹といふ大佐等が班數繋ぎになつて法廷に立つた時、どんなに私は驚き悲しんだであらう。

海軍中將松本和、海軍機關少將藤井光五郎、海軍造兵大監松尾鶴太郎、海軍大佐澤崎寛猛等の忌はしき名が今猶私の腦裡に刻み込まれて忘れられない。

軍人も矢張り人間だ、人間だから中には惡事を働く者も出て來ると云へば、敎育家の場合にも、政治家の場合にも同じことになるだらう。それならば社會的尊敬だけを受けてゐる譯には行くまい。』と云ふのだ。

惡魔が聖書の言葉を引用する如く、麥飯を食つて詩を作つた乃木さんの事が書いてある。周明一派の反動雜誌と雖も、社會主義的口吻を弄し民衆の歡心を買はずしては何事も出來ないと云ふ恐ろしい時代の步みの皮肉さ、周明の『日本』も、哈吉の『日本』も、寔御苦勞な話だ。

ところがまた『大正公論』の卷頭言に「靜座默考せよ」と冒頭して『自己の惡を蔽はんが爲めに他の非を摘發し、他を排濟すれば自己の向上となると思惟する現代は禍なる哉。世道人心の弛緩し、一切の外物を以つて利己の具に供せんとする心理の橫溢となれるの狀、正に此醜陋なる境地より脫却せんとするの心機が發生せずんば、日本は今や亡滅の外はない。』と論じてゐる。そして、その結論が面白い。曰くだ。此の亡滅から救ふ道はたゞ『十五分間瞑目端座』する事に依ると云ふ。

在郷軍人諸君。世の中は面白い。十五分間の瞑目端座に依つて、滅びんとする日本が救はれ、社會主義者が鮮人と共謀して地震を起すなど流石に東洋の不可思議國、西遊記の孫悟空の妖術にも似て痛快至極では御座らぬか。

最近新聞の報ずる處によると光榮ある前陸軍第四師團付輜重兵大尉杉田正が、機密地圖及書類を、赤露へ賣込まんとして上海總領事館に捕はれたとある。元憲兵大尉甘粕正彥の亞流か。

覺醒大日本

ところがまた大木遠吉の『國粹』には『何すれぞ唯物史觀に立發したマルクス思想の如き侵害を蒙らんやである。吾等は泰西の舊思想を以て日本の新思想となす流行思想の漸く影を密めんとする潮合に乘じ國民は之れ等不逞思想の排除に對する追擊戰に今一段の努力を希求して止まざるものである。』さて「假睡より覺めたる日本」卷頭言とある『大正公論』の日本亡國論に比して心強い事夥しいのであります。國粹會、黑龍會系からの言論銃が斯ふして民衆及在郷軍人諸君に放射されるのだが母親が可愛い〻娘を三人も絞め殺して最後に鐵道往生を遂げる現社會だ。唯物史觀の必要なんかゝあるかい。

まあ何にしても世の中は八釜しくなつた、軍事敎育反對論も實力の上では、軍閥の敵ではなかつたと見えて、泣き寢入りの姿だがこれまた廢代天放の『民勞』には「黑船の威嚇」と題して、合衆國の大艦隊の太平洋演習を材料として、合衆國に對する國際的反感を挑發的に軍備擴張論をやつてゐる。

天上天下唯反動

山口高商の福本和夫敎授が免せられたと云ひ、札幌農科大學の高倉氏が取調べを受けてゐると云へばまた最近ではマルクス研究の第一人者京大の河上博士が何かしら、首になり相な噂があつたり、小壯血氣の靑年が、その爲に自殺したり岡田文相が、絕對に社會科學研究の取締りを斷行すると明言したり、まことに『國粹』の『不逞思想の排除に對する追擊戰』が愈々總攻擊に移つた感がある。筆者は世相の映ずる處をプロの立場から公正に批評することを次の期會にゆづる。（四月二十二日）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

政治運動えの抗議

澤井悳之助

一

普選が實施せられるようになり、所謂民權わ著しく擴大された。それにつれて、日本社會運動にも、當然大變動がきたのである。政治運動の勃興が即ちそれである。

從來、無產階級解放を、經濟的行動のみにもつてした組合運動も、この期を後にして、議會行動えと方向を轉換した。無產政黨の成立わ、明らかに事實を證左に語るものである。この事實の推移に對し僕は云々視するものでわない。

僕の云わんとするところわ、政治運動による、無產階級解放が果して、可能か否かにあることである。

この場合、僕の云ふ政治運動わ、政治的行動によつて、既成ブルジョア議會內に侵入して、絶對多數により支配勢力を、無產階級の手に奪還することを指すのわ、勿論である。要するに、無產階級一切の解放を、議會行動によつてのみ獲得しようとするものゝ謂である。

無產階級解放わ、一言すれば、ブルジョアジーをして、徹底的絶滅するにある。この目的觀に立つ無產階級と、從來の勢力の存續に努力するブルジョアジーとわ、その本質に於いて異にしている。

こうした相反噬する階級の對立わ、議會內に於いても、激烈なる鬪爭が惹起せられる。しかし、その結果として、ブルジョアジーが斃れぬ限り、妥協か屈服かより外に道わないのである。換言すれば、現制度に忍從するか、社會政策的に一歩を進めるかにあるのだ。僕等わ、妥協を排斥すると、ともに、社會改良主義者であつてわならぬ。

また、かくの如き行動によつて、無產階級が解放されることわ、斷じてないと信ずる。

二

然らば、論を進めて、こゝに完全なる無產政黨が實現されたと假定する。

この時、該政黨わ、無產階級解放えの條件を提げて、ブルジョア議會に臨むだらう。しかし、その採否わいふまでもなく、分らないことであらう。こゝに、兩階級の大論爭があるに違ひない。かくして、幸にも、無產階級の諸條件が通過し、そうして、假へば、八時間勞働が制定され、最低賃銀が確保されたものとする。諸君は叫ぶであらう、諸君の大なる功績を大衆に向つて。

だが、しかし、これをもつて無產階級が解放されたとは云へない。成程、或る程度までは解放された。が、それわリベラリズムえの墮落であつて、非無產階級的なものである。ブルジョアの存在する限り、無產階級わ永久に彼等の隷屬のもとに、呻吟せねばならないのだ。

かくの如き、微温的運動論者わ、ブルジョアリベラリストと何等變る處わない。政治運動に對し、僕等わこの意味に於いて、極力反對するものである。

然らばいかにして僕等の目的を達成するか、それわたゞ暴力的手段に訴えてのみ可能である。

三

日本社會運動の將來を展望するに、實に暗憺たるものである。

幾多の波瀾曲折のうちに産れた『農民勞働黨』は解散され、左傾分子を排した、第二次『勞働農民黨』も、紛糾につぐ內訌で、ようやく結黨式を揭げるにいたつた。それから、中部農民を代表する『日本農民同盟』なる政黨も組織された。かくして、種々なる無產政黨わ、腫物の如く簇生する。そして、その無產階級を代表するという政黨わ、既成政黨の黨略手段そのものゝ如き、見苦しき鬪爭をしている。

無產階級の要望わ、決して黨略的なイガミ合でわない。無產階級わ、眞に人間として生きようと欲するため、自由と幸福なる社會を建設せんとしているのである。

かくの如く、民衆を欺瞞し、裏切り、非社會主義的な政黨屋共に對し、嚴重なる抗議を申込むものである。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

イン・プレ・コ

パレスチナ

◇罷業統計

年	數	罷者業數	罷業延日數
一九一九	一	四〇	五六〇
一九二〇	三	四四	五九一
一九二一	九	二一三	三〇七五
一九二二	九	四六六	一九九三
一九二三	二七	六二四	六〇四四
一九二四	三一	九九六	一九六二
一九二五（一月より五月迄）	三〇	一三三四	一八八七三

これ等の數字は所謂土民の勞働者に關するものであるのを見てもその生活狀態が切迫して來たことを思はせる。この結果を見るに、七〇%は協定により落着、一八%は勞働者の失敗を示し、他は成功を見た。

ラトビヤ

◇議會に於ける無産黨勢力消長

黨派	一九二五年	一九二三年
無産共和黨	三二	三一
農民黨（右傾）	一六	一七
共和中心黨	五	六
過激社會黨	四	七
ドイツ派	四	六
キリスト教派	四	六
無所屬右傾派	三	四
ファシスト	二	四

從つて無産傾は百人中、三七人である。

ギリシヤ

◇四月八日軍隊内にパルチ、カラコウファ、ゼハスの三少佐の率ひる反亂が突然したが、政府は直に軍令を發し、九日正午亂定。

ブルガリヤ

◇白色恐怖教育者に及ぶ。反動、暴力團體の勢をほしいままにして居る同國では、最も穩譲とせられて居る教育者にも犧牲者を續出し、最近にも十數名に上つた。その二三を報導すれば、ゲオルギエフなる村立小學校の學務委員は夜間、爆彈で襲はれ森林に伴れて行つて殺された。アンナ・マイムコフは（多年女教員をして居た）「勞働婦人」「平等」の編輯をして居たがこれも殺された。これ等、襲撃は右傾派のツアンコフ教授の率ひるものであるといふ。

ダンツイッヒ自由市

◇失業者は二萬五千を數へる。

ドイツ

◇バワリヤ

失業者に對する救濟として、獨身者一人に九・一〇マルク（一マルクは我四十八錢）を與へられて居るが、産業組合から五マルクの支給があるのでやつと失業者は其生活を支へて居る。さき頃、「貧窮期間勞働」の名の下に、救濟なるものを講じて社會政策を誇つて居るがその實、ダッハウに住む失業者等はインデルフドルフ迄五里近く通つて運河を開くのであるが、一時間〇・五五マルクで、一週平均三十七時間半位しか働けない。（この收入二十・六（三マルク）その中一・六二マルクを健康保險、〇・五マルクは廢疾保險、乘車賃二・二マルクひかれて一六・三一マルクしか手に入らない。働かないでじつとして居れば、政府と産業組合からの支給を合せて一四・一マルクあるので、汗水たらして働くと二・一一マルク余計に入るといふので、失業者は何等の恩惠を蒙らない有樣である。

◇或る統計によると三萬人の勞働者に對して八千の事故があり、その中千四百九十人死んで居る。

イタリー

◇ファシストの本場、ファシスト王ムッソリニの君臨するイタリーの町、プレンネルの至る所にこの項掲げられた市民への訓戒「十ヶ條」を紹介しやう

一、イタリーの神聖

二、古代ローマ人は全地球上の住民の何れよりも優越して居た。

三、プレンネルは到着地でも

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

出發地でもない。

四、最も愚かなるイタリー人と雖も尚他國人千人に劣らず。

五、イタリーの產物はあらゆる外國製に勝る。

六、イタリーの風景は地球上の何れよりも勝る。

七、イタリー風景の美を評價するものはイタリー人の目にあらずして神の目なり。

八、イタリー人はあらゆる權利を有す、何となれば彼等は造物主よりの絕對獨占權を受け、又受けんとしつゝあればなり。

九、あらゆる發明はイタリー人によりてなされたり。

十、故にあらゆる外國人はイタリーには宗教に入る如くせざるべからず。

〔註〕ブレンネルは墺伊の國境にあり。

◇失業者十萬人（本年二月統計）

◇ムッソリニ射撃さる

四月七日英國のヴアイオレンギムソンといふ老婦人の爲、外科醫國際大會場に臨んだ首相ムッソリニはピストルで射撃されたが傷は鼻を打つたのみであつた。

ポーランド

◇失業者に毒瓦斯を見舞はす

昨年末、リスノヴエッの近郊、ザヴイエルツエに失業者は示威運動を行ひ、市廳前に參集したので、市長は警官の非常召集を行ひ、拔劍、騎馬巡査を以つておどしたが散會しなかつたので、ポーランド社會運動史初めての涙瓦斯の榴彈を、マスクをつけた警官によつて投げつけさせた。失業者はその爆發に伴ふ落涙にたえないで四散したが、逃げおくれたものは檢束されてしまつた。

ユーゴスラビヤ

◇ベルグラード

本年一月末、勞働組合總會は前夜、一擧に主なる者二百五十名が檢束されて流會になつた。

◇政府は赤色恐怖を人民に徹底させるため、二月上旬種々捏造記事をかゝけ、電報を海外へ發した。

オランダ

◇電車從業者の罷業

本年二月、ツフエン●エムナリツク線の從業員は昇給を要求して罷業をしたので、他の線からストライキ破りとして從業員を廻してこれに對抗させて、車數を減じて運轉をつゞけたのに對し、電車鐵道從業員組合は大型乘合自働車を五臺買入れて、その線路におき、電車の客を全部これにとつた。

因に同組合はオランダに於ける第二の會計の豐かな組合であり、一九〇三年以來罷業をしなかつたので爭議に對する積立金が充分あつたからだといふ。

◇ローザの下手人は生存

ローザ●ルクセンブルグの下手人は同國に亡命してゐるので、同國の社會主義者等は强硬な抗議をなし、ドイツ政府もその引渡を申込んだが、オランダ政府は政治上の亡命客としてこれを拒絕したといふ。尚、オランダ新聞記者團はこれに就いて議會へ報告したが、これも拒否された。

勞農ロシヤ

◇新聞●雜誌

昨年末の調査によると、農民のため新聞雜誌は五九五種あり、過去一ケ年に於ける增加は二十倍であるといふ。これを平均すると農民は八家族乃至十家族に一種の雜誌をとつて居る（勞働者は約半數が購讀して居るのに比較すると農民は未だ生活程度からいつても、又敎養からいつても幾分劣つて居る——然しこれを帝政當時と比較すれば實に雲泥の差がある）

尙支那式の掲示新聞（人々の多く集るところへ日々の報導を掲げるもの）は二萬六千余あるが、これは亦素張らしい勢で增加してゐる。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

批判と警戒
指導者を注視せよ

渡部信義

一

社會運動が、資本主義社會の重圍の中にあるのは今更云ふまでもない、重圍の中にある故にこそ吾々は、益々この現實を克服して運動を進めなければならない。

吾等は現下の我が國社會運動に於いて何を見るか。吾等はそこに色濃き一つの狀勢を見るのである。それは何であるか。共産主義者に對する排撃の聲がそれである。

例へば二月十二日の本年度に於ける日本農民組合大會の席上に於いて吾等はそれを見る。即ちその席上に於いて一指導者の放てる『共産主義者の策動を警戒せよ』の言がさうである。

しかしてまた、三月二十八日、山梨縣聯合會その他の農民組合がその日本農民組合より脱退するに當つて理由とせる『最近日本農民組合内に共産黨分子の跋扈甚しくその行ふ所は創立當初の根本精神を無視して、眞の農民生活に立脚せざるもの多く、徒らに過激な理論にのみ走つて、我等と主張を同じうしない云々』に於いて、吾等はそれを見るのである。

一體共産主義者の行動を警戒せよとは何であるか。しかしてその言の放たれるや、それに對してそんな者が何處にあるかと反駁せる者のありしとか云ふを聞くが、抑々それは何であるか。また山梨縣聯合會等のその脱退理由なるものの意味するところのものは何であるか。

かかる共産主義者に對する排撃に對して吾等は漫然それを聞き流す事は出來ぬ。それは日本共産黨とか云ふものに屬してゐない共産主義者にとつても當然の事と思ふ。

二

何が故に共産主義者はかく排撃されなければならないのか。それは共産主義者の誤れる戰術に因るのであるか。戰術の過誤とは何であるか。

資本主義は世界的である。しかしてその資本主義よりの解放にもまた世界的に共通せるものがあるべきであつて、それは共産主義——それを吾等はマルキシズムと解するが、それに依らずしてはなしえないと信ずるのである。だが、その同じマルキシズムをもつて社會運動を進めるとしても、外國に於ける社會運動の戰術の理解をもつてそのまゝ直ちに我が國社會運動の戰術の理解とし、それを以つて我が國の社會運動を進めようとするならば、そこに戰術の過誤が生ずるのである。外國のそれは外國の歷史性現實狀勢に立脚してマルキシズムをもつて社會運動を進めなければならないのである。

三

現下の共産主義者の排撃は、

見よ!!この壓迫

安達 巖

判決

主文

被告ガ原告ノ法定推定家督相續人タル事ヲ廢除ス

訴訟費用ハ被告ノ負擔トス

事實

原告訴訟代理人ハ一定ノ申立トシテ主文記載ノ如キ判決ヲ求メ其請求原因トシテ被告ハ原告ノ長男ニシテ共法定推定家督相續人ナル處被告ハ數年來ヨリ社會主義ヲ研究シ之ヲ信奉スル事堅ク其言行甚ダ不穩當ナルモノアリ爲ニ村内ノ靑年其他ノ指彈ヲ受クルニ至リタルヨリ爾來原告ハ被告ノ父トシテノ責任上公共ノ職ヲスヽメラルモ之ヲ固辭セザルヲ得ザルノ狀況ニ立至リ被告ガ原告家ヲ相續スルコトハ原告家ノ地位信用ニ關スル事多大ナルモノアルニ依リ原告ハ屢々被告ヲ戒告シ之ガ善導ニ力ヲ盡スモ被告ハ常ニ之ヲ峻拒却ツテ原告ニ對シ粗暴ノ擧動ニ出ズル事アリ之ガ爲ニ原告一家ハ圓滿ヲ缺キ家庭ノ秩序ハ之ヲ維持

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

かかる過誤の故であるか。が、彼等は何の故に共產主義者の策動を警戒しなければならないと云ふのであるか。何が故に、日本農民組合の創立精神を無視し眞の農民生活に立脚せず徒らに過激な理論にのみ走ると云ふので脫退すると云ふのであるか。彼等がもし農民運動の精神をマルキシズムの階級鬪爭により資本主義社會よりの解放に置かずして、我が國の歷史性現實狀勢に立脚しながらも唯マルキシズムをとるが故に、それらの者に對しては徒らに過激に走るとなし排擊の鋒を向けるのであるとすれば、それこそ却つて彼等が眞の社會運動を誤るものである。問題はここにある。しかるに遺憾に思はれることは、脫退せる農民組合等の四月十一日全日本農民組合同盟創立準備協議會に於いて可決せる綱領なるものを見る時に、吾等はそこに階級鬪爭による資本主義社會よりの解放運動の組合たる精神を認めることが出來ないのは如何した事であるかと眼を見張らざるを得ないのである。

四

先にも述べた如く、吾等は我が國の歷史性現實狀勢に立脚してマルキシズムをもつて社會運動を進めなければならないが、今日に於ける我が國社會運動を考へる何づれの者が、我が國の歷史性現實狀勢を見ずして漫然マルキシズムをもつて社會運動を進めようとする者があるであらうか。資本攻勢の激しき中に幾多の苦き經驛をへて來た我が國社會運動の中に於いて、かゝる者のあることは考へられぬ。歷史性現實狀勢に立脚するのは、この激しき資本攻勢の中にあつて、一步一步確實に現實を克服して社會運動を進める爲めである。現實に立脚すると稱しつゝ現實に捉はれ、現實克服打開の社會運動を現實追從と墮せしめる時は、眞の社會運動はない。現實に即し現實の要求を眞の社會運動の精神にまで持ち上げ結びつけつゝ現實を克服することによつて吾等は勝のである。

吾等は常に我が社會運動を凝視し批判し、現實立脚の陰にかくれて眞の社會運動を骨拔きにする現實主義の社會運動の擡頭を警戒し排擊して進まなければならぬ。しかしてまた吾等は常に吾等の世界的立場、吾等は世界資本主義の一面たる日本に於ける解放を受持つのであるが全世界の解放なくしては眞に吾等の解放なき事を忘れてはならぬ

河上博士のこと

日本に於けるマルキシズム研究の第一人者、京大の河上博士は、先きに同校生等の『某重大事件』なるものに關與せる『かど』とかにて家宅搜索を受け、加ふるに今度び文部當局は不法にも同博士に對して罷免せんとの意向を學校當局に內示したので先に司法當局の處置を糺彈したる同大學の法、經兩教授全部は更に今度も同博士を擁護し結束して『若し河上氏を免職するならば、我々は休講しても當局の反省を促す』と決議した。さもあるべき事であると感服の外はない。

これは又元京大講師山本宣治君今度び同志社大學よりも御斷り。然かも擁護者一人もなし、とは山本君もユク所まで行つたものか。

シ難キニ至リタルノミナラズ被告ハ社會主義ヲ奉ズルノ結果家族制度ヲ否認シ且之ヲ公言シテ憚ラズ從ッテ原告家代々ノ農耕ニ從事シ現ニ原告家ヲ出テ縣郡ニ於ケル小作人組合ノ事務所ニ起居シ同組合ノ事務ヲ執リ居レル狀態ナリ、斯クテハ原告ハ家運ノ將來ニ深憂ナキ能ハズ（依つて相續人を廢除して吳れ）との事實に對し

「斯ノ如キ被告ノ行動ハ民法第九百七十五條第二項ニ所謂法定推定家督相續人ヲ廢嫡スルニツキ正當ナル事由アリト謂フベク」承知したと云ふ意味の判決が下つた。被告は馬鹿らしくて一度も被判所へ出頭せなんだ。上告もせぬ。

諸君!! 斯くの如く民衆の正義と愛のためたゝかはんとする者は、特權階級が作つた法律と道德のために迫害を被るのだ。吾等は飽くまでこの不合理とたゝかつて○○城の空高く赤旗を押立てるまで奮鬪を誓はふ。

（×縣×郡×村◇◇生）

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め社だより

告別

◇

四月一日突如として補充兵召集、五日入營との飛電あり、一日遅れて六日朔大阪師團歩兵第八聯隊第十一中隊補充第一班に入營した。

◇

お蔭で數日間社の仕事の整理や留守中の整理等で散々忙殺された。而かも此れから三ケ月間殺人と掠奪の練習をさゝれるのである。

◇

併し此れも資本主義制度の續く限り止むを得ないと云ふの外ない。「智識階級と解放運動」は此の爲め、遂に書けなかつたが除隊後に續ける心算である。(松山)

郷里へ歸つて

◇

久振りで郷里へ歸つて、三年前の郷里とは大分違つて、同志の人達の活氣づいてゐるのに接して嬉しかつた。福井縣と云へば、何時も眠つてゐるやうな、陰鬱な空氣に支配されてゐる中にも、やはり新しい時代の吹息が通つてゐるのは、何と云つても吾々の勝利だと思ふ。既知未知の同志の健在をはるかに祈る。

◇

同時に僕の身邊から、一月には谷口直平君が金澤の工兵隊に奪はれ、今又、松山政雄君が大阪の歩兵八聯隊に拉し去られた。二同志の心中を、半夜夢さめて思ふ時に、僕は益々平素の志を堅めなければならぬ事を思ふ。世は新緑の春なれど、僕等にとつては、胸中落莫、唯反逆の信念が燃ゆるばかりだ。見よ、青年軍事教練は近く實施されんとしてゐるではないか。(山川)

今頃

◇

「古田君が瑞日和に逝き」「中濱君が櫻の花の様に四月に散つてしまつた」。その間無産階級の政黨は七花八裂の中に各々の宣言と綱領とを持つて簇生して來た。

これ等の諸政黨が社會と云ふ商品市場に出てドレだけ資本主義治下に於ての政界の相場を狂はせる？ 要するに仕事はこれからである。

◇

只未來に對する宣言を書くために四月も廿日を過ぎた今日、尚組合運動の闘士諸氏が、組合運動本然の姿であるメーデーの準備會をすら開かずに居ると云ふ事實に對して「組合幹部とプロレタリヤ政治運動の野心と云ふ關係が餘りに見え過ぎた」と云ふ氣がして苦い氣と共に、憤慨を感ぜずには居られない。

◇

憤満と云へば、「オ上」の人を喰ひ加減たらありやしない。由來「オ上」は人を喰ふ所に「オ上」の存在價値があるのであらうが、一度進め誌に出した春田正君の近世社會主義史を、今度パンフレットとして集めて出版した所、待つて居ましたとばかり禁止と來やがつた。

これで本社が今年度に入つてパンフレットとして出版した總數三部の中、發禁二部と云ふ事になつた。かうなると遇然とは充分知りながらも、發禁に對する一定の標準を「キメ」てくれと。「オ上」にたいして云つて見たくなる。

◇

今年は「進め」の「アタリ年」である。一月には谷口君が金澤に入營し、四月一日には再び松山君が補充兵として大阪歩兵八聯隊第十中隊第一班に御奉公と大阪へ下つてしまはれた。その後の松山君の消息は、既に新聞紙に依つて諸君の知られる通り宣誓拒絶に花が咲いて居る。

世界が違ふので諸兄姉の手紙も讀みたがつて居る。シツカリタノム。(渡理)

鯉登り

◇

メーデー來る。本號はメーデー號として諸君の手許に見ゆることにした。之が諸君に取つて少しでも示威運動の準備の參考ともなり刺戟劑ともなれば同人として望外の幸ひである。

今更喋々せずともメーデーは吾々無産大衆の威力を資本家に示し且つ全世界に横斷的に連結す可き唯一の惠まれたる日である。メーデーは亦無産大衆の力のバロメーターである。故に無産者たる者は誰しも此の日此の運動に參列する義務を有する。メーデーの盛衰如何は一に吾人無産青年の双肩にかゝはる。進めの讀者十萬！ この十萬人の團結は實に威大なるものである。吾等同人は熱血溢るゝこの十萬の讀者諸君が一人殘らず奮つて各地方〳〵のメーデーに參加せむことを切望する。

◇

別記の如く同人松山は補充兵として兵營に三ケ月の强制訓練を受く可く餘儀なくされた。曩の谷口君と云ひ今年になつて社同人は二名迄も軍閥のために引抜かれた。殊に觸はるが亦一面官憲で〇〇の豫行演習をさせて來る可き無産民衆××の日に大いに役立たせて呉れると思へば亦有難い事でもある。

◇

同人が減つても進めの力は益々隆昌になり意氣は冲天だ。姉妹雑誌「小作人」も躍進して農民運動雑誌の一權威となつた。同誌は大阪進め社の同人安達、山根、山本、小杉等の錚々たる闘士が任に當つて居るから誌面に戰闘氣分の横溢して居ること、其の立派なること保證して餘りある。進めの讀者諸君は是非共「小作人」を併讀されむ事を願つて置く。(緒久能)

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

農村の疲弊と青年の使命（二）

湯原彦三

如斯貳百五拾萬圓の大金は地主階級資本階級の爲めに投せらる無産者の爲め直接何の利益を受くるや、右の如き費用を投じて眞の農村振興を出來得ると信ずる政府當局の無能と低能には殆んど攻擊の辭さえ出でざるを悲しむ。

農村共同施設費拾七萬圓此れは何の目的なるや解釋に苦しむ、目下小作爭議頻々として小作人より地主へ耕地返還する者多きを以て地主等は共同耕作の手段を取るもの多し、彼等が自ら經營すれば多大の損失あるを以て其の補償を得る爲めに共同施設費として分け取るに過ぎざるべし。

農業倉庫奬勵費六拾萬圓は地主が搾取したる小作米を高價に賣却せんとて完全なる倉庫を設置するに外ならずが爲めの補助である、小作農民は何等の利害もなし。

繭倉庫奬勵費此れも繭問屋或は資本階級の商賈道具に多大なる補助を投じ無産農家に關係なし。

副業奬勵費　僅か三拾五萬圓を以て全國三府四十三縣の各村農民に如何なる方法を以て使用するか、其の效果や推して知るべきのみ。

農具改良普及及奬勵費　貳拾三萬圓、改良農具の展覧會や共進會を開いて成る程便利な機械もある、使用すればよいけれども購入する金がないと小作農民の愚痴を漏すのみ。

畜産局關係の拾五萬圓は完全に農村資本階級の費途のみ、水産局關係の參拾萬圓も漁村の資本家所謂網親の爲めに消費せらるゝに過ぎず。

嗚呼小作農民よ目醒めよ。右の如き農村資本階級は我々より搾取するのみならず、政府より多大なる援助を蒙むる、併して多大なる利益を得れども資本家や地主は自己の利益に反するとて小作農民は見殺しにして少しもかまつては吳れないのだ。

どうしても自分の事は自分の力で解決せなければ千年待つても百年經ても小作農民の福利增進は出來ないのだ。米を作る百姓が食ふに困つて餓死せなければならないことになる。自己の力に據て自己を擁護せなければならない、けれ共其の力は誠に微々たるもので頗る貧弱である。到底個人の力を以ては資本家や地主には對抗出來ないのだ。

我國人口の七割は農民であるそして其の七割即ち全國民の半數を有する小作農民は團結の力によつて自分等の利益社會的地位の向上を計らなければならない、それは自分等のみではない、子供の爲め、子孫の爲め社會の爲めである。

此の全國民五割の農民が一度自己の階級に目醒め一齊に立たば何物にか恐れん、何物をも成す事を得べし。

此の可憐なる五割の國民が行詰りの果て萬一暴力に訴ふるが如き即ち大正七年の米騷動の如き事態を未然に防ぎ併せて經濟上並に社會的に向上發展を圖り此れが目的を貫徹するに障害を加ふる何物をも恐れず、易々として此の障害を排去せしむる力を有するものは唯一なる組合の力のみである、農民が眞に自覺し、全國に連絡を取り相愛扶助の實を完ふすると否とは吾國農民及其の子孫が社會的に人格を認められ人間としての待遇を受くるか又は農奴として暗黑なる世界に徘徊するかの分岐點である。

吾れに自由を與へよ、然らずんば死を與へよとの叫びは今や農村無産靑年の叫びである。果して今日の骨抜き敎育を受けた農村靑年に此の使命を完ふするや否や。

農村の土地と自由を得て光明に輝き花咲き鳥歌ふの樂園の主となるか、鈍慾飽無き地主資本家の鞭に追われ機械の代品として哀れな農奴となり、然も己の子孫も永久に其の苦海に沈淪せしむるか、一に農村靑年の自覺と否、勇氣と怯怠との境に依つて此の重大問題も解決せらるゝのである。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

反動雜誌の檢討

XYZ生

（一）

資本主義は末期に近づくに従ひ其の崩壊への過程として資本と勞働との對立を深刻にし、階級鬪爭をより激化する。而して此際ブルジョアジーは彼の有する全幅の機能を活動させて悼尾の猛襲を試みる。この反動時代は個々の一國のみの現象ではなく本質的に資本主義國家が共通に帶びて居る事である。沒落期に瀕せる日本の資本主義もこの例に洩れなく遺憾なく資本の攻勢を發揮しつゝある。即ちプロレタリアの擡頭を抑壓する諸種の惡法案、過除人口の吐け口を求める領土侵略の欲望と國内無產大衆の××に具えむ為の二途の目的を有する軍事敎育の徹底的普及。亦精神的方面に及びては宗敎宣傳の革命思想の痲痺のみではなく更に娛樂機關に迄延びて文化的敎養に美名を借る諸々の反動的敎化、曰くラヂオの國粹劇鼓吹、曰く映畫に表現されたる軍事活劇の續出等枚擧に遑がない。斯如ブルジョアジーは近代社會制度の上部構造の全組織、全權力を運轉して民衆の意識を無視して反動の役割を强制せしめ且つ洋々たる大河の流るる如き不斷に進む民衆の思想を抑壓し痲痺せんと試みて居るのである。この際吾人は是等反動文化の一役割を努むるミリタリズミックな數種の雜誌を忌憚なく批評し、檢討するのも決して無意義な事であるまいと信ずる。

（二）

先づ現今發行されて居る僅かの無產階級的見地に立てる新聞雜誌以外の悉くは反動的色彩を帶びて居るものであるが、其の中で最も露骨な對世間的に余り知れて居ない奴を數種並べて見る。

●戰友●――これは在鄕軍人會本部發行になるもので軍隊の下士兵卒に讀ます可く記事も平易に普遍的に出來て居る。定價も易く一部十錢、丁度進めを反動雜誌にしたやうなもの、卷頭には平易な而かも淺薄な義勇奉公の精神を高唱した論說を每號揭げ、某將軍連の妙な逸話とかムッソリニの傳記、學生軍事敎練の記事等で誌面を埋めてある。

●我が家●――題號の示せるが如く下士兵卒の家庭内に軍國主義的な思想を浸込ませる事に妙を得て居る料理法とか、主婦の心得等の記事を餌にして暗默の中に不知不識軍人の家族に帝國主義の觀念を養成させて行くのである。薔薇のやうな恐しい棘のある雜誌だ。

この『戰友』『我が家』等は二十年も以前に創刊されたもので初は單に兵卒に軍事智識の普及と軍人精神と云ふ奴隷根生を養成する雜誌であつたが、數年前より漸次に强い反動的色彩を帶びて來た。

●文武●――これは前記二誌と同様なものだが世界思潮の影響を受

勞働階級の實力

水野正次

勞働者は彼等の掌中に最も巨大なる實力を有してゐる。そして、若しも彼等が一度それを完全に自覺して、利用すれば、何物もそれに抵抗することは出來ないであらう。彼は單に勞働を中止し、勞働の所產を彼等の物と見なして、それを享樂するであらう。これが此處彼處にそれ自から現はしてゐる勞働運動の意義である。國家は勞働の奴隷狀態の上に安定してゐる。若し、勞働が自由になれば、國家は滅亡するのである。

今更マックス・スチルネルの說明を俟つまでもなく、資本主義的國家は、被搾取者即ちプロレタリアトの奴隷的狀態の上にのみ漸くにして安定を保持してゐる譯は、海上の樓閣なのである。故に、起てば怒濤たり、怒れば暴風たり得る、勞働者の團結的威力は、よく一國の運命を左右し得る底の文字通りの實力なのである。

我我は、ブルジョアの改良主義や協調主義に何を期待すべきかを既に完全に知つてゐる。マルクスは云つた。勞働者よ！團結せよ！と。然り、我等は團結する時始めて自らの實力の眞に威大なるを知ることが出來る。我等は一日も一刻も早く團結しなければならぬ、而して、我等自身以外の何物にも、その救濟を、その解放を期待すべきではない。

資本主義制度を限りなく憎惡する我等は、これを變更するために、彼等ブルジ■

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

けた大正六七年頃擬軍として發行されたもの、以上の三誌は何れも十錢乃至七錢賣りの宣傳雜誌、安價な事比類ないが軍閥の機密費が控えて居るから經營難で潰れるやうな事は絕對にない。

●尙●昨●年頃から つはもの——と云ふ兵士專問の週刊新聞が陸軍の新聞班から發行されて居るさうだが筆者は實物を見た事がないからどんなものか知らない。

（三）

前記の種類のものは薄ペラなものだから大して齒牙にかくるに及ばないが、次に稍高級な將校向のを二種槍玉にあげる。

●後●援——これは在鄕軍人後援會から明治三十六年頃創刊されたもので以前はどんなものか知らないが試みに本年四月號の目次を並べると『フアワシヨの現狀。國家總同員某國侵略史』尙蜷川某なる博士が社會主義の現狀なる見出しで荒唐無稽の説を吐いて居る、これでどんな雜誌か諸君も大凡想像されると思ふ。噂に聞くとこの雜誌が主になつて全國百萬の在鄕軍人を煽動して和製フアチスト運動を將來●起●す陰●謀があるとか。

●大●正●公●論——に到つてはこの種雜誌の雄たるもの、之は最初から社會主義運動、勞働運動撲滅を主眼として、陸軍省の機密費から出たものだ。『後援』と同じく紙數も厚く將校にとつては『改造』級の雜誌である大正八九年頃民主的思想が旺盛を極めた頃、軍隊內に於ても靑年將校等が彼等の所謂惡思想にカブれたので其の防禦策として、一方現役將校が下士兵卒に對する精神訓話の種本としての役目を負ふて出たもので、全誌面悉く社會運動撲滅の記事に埋まり至り盡せりの感がある。發行所たる在鄕軍人會本部ではこの惡使命の爲には全生命を擲ち如何なる障害をも辭せずと云ふ猛烈な意氣込で活動し潔白な軍人精神にあるまじき凡ゆるスパイ政策を採用し以て勞働運動の裏面や社會運動家の行動を探索して記事を作製して居る。この種惡記事の提供者には墮落主義者遠藤無水その他數名の主義者が買收されて居ると聞くが無論こんな錄でなしのスパイ共に書かした記事だから正鴻なものとて一つもなく、事情を知らぬ正直な讀者を誤らせて居る。大正公論の別名を『曲解公論』と稱されて居るのも宜なる哉。例せば次の如き

『狹い心で世の中渡りや、マルキシズムにヤレだまされる、
マルキシズムにだまされりや可愛想だがヤレ心が腐る、ヤンヤトサ鹽の一斗もかけてやれ』

こんな下らない馬鹿げた民謠を誌面に載せ且つ蓄音機のレコードに吹き込んで普く配布して地方の單純、正直な在鄕軍人靑年達を惑し而して惡思想退治の民謠とほざいて居る。これは一寸した一例に過ぎないが以て如何に彼等の跋扈たるや其の害惡の甚大なるかゞ窺はれるのである。

軍國主義的反動雜誌と云へば大體右に擧げた種類の如きものである。

吾人は吾等が陣營內の靑年たる純眞な兵士が如何に露骨に反動されつゝあるかは其の弊害の甚大なるを見せ付けられる度に痛憤禁せざるものである。

（未完）

アに反抗しなければならぬ。反抗する爲めに先づ團結しなければならぬ。團結する爲めに更に自らの實力のいかに威大なるかを自覺しなければならぬ。若も、我等が强固に且つ勇敢に團結し、これを欲するならば、我等は直ちに最强者となり、京の支配は終息するのである。しかし、救濟と解放とは常に闘爭の裡に存在するのだ。さらば、我等は……その實力の威力を自覺し、團結の可能性を信ずる我等は、最早ブルジョアのお慈悲にすがりつくは無用であり、笑止の沙汰である。我等はブルジョアに自分達の救濟を歎願するには、自分達にはあまりに實力があり過ぎることを自覺しなければならぬ。資本主義崩壞への鍵は、正に勞働者自身の掌中にのみ委ねられてゐるのである。その他の誰が、それをよくなし得ようぞ！ 勞働運動の指導分子と自稱し潛稱する知識階級がなんだ。彼等は社會に於ける自分自身の經濟的立場を餘りに知らな過ぎる。××とは生産組織の變革である。然らば、直接生産に從事せぬ彼等知識階級にブルジョアと等しく、變革のこの仕事に對して、何等の權限もないのである。すくなくとも勞働運動に對して容喙の權利はないのである。さらば、勞働者は己の實力を自覺すればする程、自分自身の實力の大膽なる行使方法を考慮すると共に、他方からの侵害に對して自らを守るところなければならない。

勞働者自身の實力の確立と擁護、まことに、これこそ目下の勞働者の二大標語であり、また必ずや實現しなければならぬ急務である。

（一九二六年三月二十二日夜）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

暗剣殺

暗剣殺――無産階級は今や何處を向いても暗剣殺だ。爭議といふ爭議は常に、無産勞働階級に利非ず、資本家は反動の潮流に乘つて狸笑ひをしてゐる。然し見よ。この忍苦の底から、慘敗の苦境から、吾等無産階級は一歩一歩と堅實な歩調を固めてゐる。反動の暴壓の下から、既に勢よく芽は頭を持上げてゐる。

今や無産階級は全世界に渉つて、石に挫かれた草にひとしい。然し石の下積に押潰された草は、そのままに潰れて枯れて死んでは行かない。石がどつしりと腰を据えてゐる、その隙間から、ぬくぬくと芽は吹き出す。そして石をも割つて、その眞中から蔓を伸して行く。

資本主義の堅壘とばかり頼んだものの中から、新しい芽は頭を持上げる。そして軈ては社會主義と云ふ蔓となつて、資本主義の胴體の眞中を、ぶつ通して勢よく産聲を上げる――それを誰が否定し得やうぞ。

資本主義が、その胴中をぶち割られて、どつさりと斃れる夢を見てはならないだらうか。然しこれが世に謂ふ所の危險思想であり、これを夢みる者が即ち危險思想家なのだと云ふ。つまり現實を現實として、正しく承認しては不可ないのだ。

目隱しされたる馬よ。これを世間では忠良なる臣民と云ふ。

× × × × × ×

然しだ。露西亞革命の動火線となつた者は誰か。所謂露西亞の官僚、即ち目隱しされたる忠良なる馬ではなかつたか。獨逸帝政の倒れる原因となつたものは誰か。皇帝の爲めに忠誠を誓つた、軍閥ではなかつたか、即ち目隱しされた馬の中でも、一番の尤物ではなかつたか。

西伯利出兵の責任者、當時の陸軍大臣田中義一は、帝國議會での問責に對して『余に何等恥づる所なし。余は臣節を完ふしたり。』と空嘯いた後、三年にして臣節を完ふしてゐた筈の義一は、機密費問題や金塊問題で、今やシドロモドロの歩調を見せてゐる。臣節を完ふしてゐる筈の義一なら、僕が一つ號令をかけてやらうか。……『歩調とれッ。頭、右ッ。』

哀れや此處にも暗剣殺があつたのだ。帝國陸軍の名譽も、一塊のパンよりも輕かつた。資本家の金は陸軍の名譽を買收した。資本家が暗剣殺であることは、對勞働階級のみの問題ではなかつた。帝國陸軍にとつても暗剣殺だつたのだ。

陸軍、今にして臍を噬むも及ばず。哀れや正體を國民の前にさらけ出して終つた。

忠良の臣民達よ。汝達までも一人殘らず、資本家の鬼一口に頭からがりがりとやられて終ふぞ。資本家は痩せた勞働者よりも肥つた忠良の臣民の方が喰つてウマイと言つてるさうだから。

浮世は狂ふが如き新緑に燃えて、これからが暫らく狂人季節だ。自殺、殺人、强盜其他等々の頻出と、資本家のがりがりで失業率は增々增加するだらう。さて斯ふなると、資本家連中にとつても、世は暗剣殺だ。名藏相濱口ライオン氏の手腕でも、これは如何にもならぬ問題だ。其處で考え出されることは結局社會組織變革の問題と來る。

× × × × ×

だが然し、さう考えては、それは世に謂ふ『危險思想』だと仰せがある。

今や官僚軍閥は前世紀の夢の中に埋もれ、資本家は生産過剩（其實際は生産不足なのだが）に苦しみ、無産階級は營養不足に悩んでゐる。それを天下の名醫が診察して、この病氣なら、この藥を用ひてこの療法を採用すれば全癒する、と言ふか言はぬに『已れ不屆人め。危險思想だ。』と來る。その癖に、營養過多で呻吟いてゐる。呻吟きながら、尙欲張つて營養不足の貧乏人の手から、殘りのパンまで奪らうとする。彼も亦、哀れむ可き資本主義經濟の一カイテイである。

だが然し、資本家共よ、止せ止せ今に腹がハチ切れて、自分自身で自滅して終ふぞ。砂糖壺に入つた蟻の譬もある。

（レフ）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

全線飛報

岩手の無產階級運動と岩手合同勞働組合の出現

盛岡を中心として純無產者を以て結成された我が岩手合同勞働組合は、去る三月二十一日午後縣民各方面の注目の下に盛岡劇場に於て三百三十餘名（當日の出席數）の組合員集合裡に汪んな發會式を擧げ、續いて即時鈴木文治、赤松克麿、土井直作の三氏出席の下に日本勞働總同盟加盟式を擧行した。尙夜に入つて直ちに以上の三氏並びに進め社の石川準十郞氏を迎へて盛岡署總動員の物々しい警戒裡に勞働問題大演說會を開催したが、市民は降り積る雪を冒して押し掛け定刻前に場内を〆切り、場内は約千八百名の聽衆を以つて全く立錐の餘地なき有樣であつた。

我々は此處に「進め」誌上を通じて全國同志諸君に、我々盛岡の勞働者が岩手合同勞働組合を結成するに至つた。遮般の事情竝びに東北岩手の無產階級運動の實情を告げ、以つてその喜びを共にせんことを希ふと共に、他縣同志諸君にいささか聞く所乃至訴ふる所ありたいと思ふものである。

我が岩手の土地は多年かの東京驛頭に暗殺された原敬の風靡した土地であつて、原敬の存在中はその時代的背景と相俟つて原敬の風格熱盛の下に人心を糾合され、縣民乃至縣無產者の自覺と云ふものは殆んど見る可きものがなかつた。當時早くも既に牧民會なる社會主義團體が存在したけれ共、單に一個の思想團體たるに止まり何等實勢力を形成するに至らなかつた。然るに原敬の死後、盛岡は激烈な政治的闘爭の中に置かれ、田子（政本）高橋（政友）の猛烈な選擧戰を經るに及んで、且その時代的背景と相俟つて、俄かに市民乃至縣民の政治的自覺を促した觀があり、其後の市會戰に際しては市選擧を目的とした二個の勞働會、盛岡勞働會と岩手勞働會とが發生した。然しそは共に階級的立場のはつきりせざるものであつた。その中心となつて居る人物が市民乃至市無產者の間に香しからぬものであつた爲に、勿論選擧にも落選すると共に、實勢力を形成するに至らずして今日に及んで居る。

一方、先の思想團體牧民會は、その後種々の人格的に香しからぬ分子が集合して來た爲に創立者達が自ら進んで解散し、その一部は所謂社會主義御定連を形成し、その一部は寧ろ一般市民の中に歸つて行つた。

其後この少數の御定連は天晴左傾者を以つて任じ、どこ仕込か知らないが謄寫版ズリ一枚を郵送しては縣當局に稅制改革を進言した等と新聞社に投書し（東京の『無產者新聞』にも麗々しく出て居た）何々追悼會だ、何々デーだなどと云つては寄附金を集め廻り、始終新聞社を訪れては我々は斯々の事を行つて居ると許り觸れ込み、絕えず警察に出入してはある事無いこと言つて阿附し狎れ合ひ、他の同志などに見戲に類する無名の讒誣狀や脅迫狀を送つては喜び、爲に一般無產者からは却つて反感と輕蔑とを買ひ、一般に社會主義乃至無產階級を賣り物にするものと見られ、警察からはすつかり馬鹿にされるに至つた。どう云ふものかこの連中は東北人に似合はず寧智肝才に丈け先天的に策略が巧みで（尤もその爲にかへつて『進め社』を放逐された橫田忠夫などと云ふニセ勞働者、親父の脛嚙つてブラブラして居る所い、文士に成り損つた爲に社會主義者になつたと云ふ奇怪な老勁者等が先に立ち行つて居るのだが）又ひたすら中央に取入ることに浮身をやつし、中央の御氣嫌取りの報告に餘念もない有樣である。彼等が如何に中央の所謂日本共產黨とかの遣口を眞似て居るかの一例に次の如き事があつた。丁度所謂日本共產黨とかゞ政治研究會とかの乘取りに掛つて居たと言はれた頃、彼等も先の盛岡勞働會の乘取りに掛つて入會し、その市議落選會長森田政次郞と云ふ妄想狂とまで噂のある老人の氣の毒な無識と好人物とに乘じて、政治研究會の會長にして今度の市選擧には必ず當選さしてやると許り欺し込んで、少なからざる金を費はせ、政治研究會盛岡支部を其盛岡勞働會を中心に作らした上に、もう利用濟みと許り殆んど蹴飛ばしたものである。又彼等は、曰く政治研究會盛岡支部、曰く日本評議會盛岡印刷勞働組合、曰く日本無產青年同盟盛岡同盟、曰く盛岡勞働會、曰く東北協議會、曰く東北總聯合、曰く何んとか農民組合等と次から次へと朦朧團體を組織し、而もそれが皆例の五六人のお定連の仕事に過ぎないで、一人の人間が軍人の勳章の樣に四つも五つもマークをつけて歩き、ほんとうの勞働者から笑ひ物になつたりした程である。而も彼等は口を開けば得々として『日和見主義』だとか『レーニンズム』だとか譯の分らぬ生嚙りの通を振り廻し、實に見るに堪へないものがあつた。

我々は斯かる鄕土の無產階級運動に滿足することが出來なかつた。我々は先に言つた階級的立場のはつきりしない選擧目的の岩手勞働會及び盛岡勞働會に滿足し得なかつたと共に、このお定連の團體に滿足し得なかつたのである。そこで我々純無產勞働者約十五名が去年來屢々集合し協議を進めたのであつた。然るに我々の擧が早くも各所に一般無產市民の共鳴を買ひ、忽ちにして一個の勢力を形成し得る徵候を示した。すると、多分お定連の報告に因つたものであらうが、突然日本評議會から加入の勸誘狀が來た。然し我々は未だ公然團體を組織するに至つて居なかつたし、それに日本評議會と結んで居るお定連の日頃の行爲を知つて居り、彼等の決して我々無產勞働者の味方でも友でもないことを知つて居たので、勿論これに應じなかつた。所が彼等は

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

早くも我々の擧の仲傷を始め種々の惡宣傳を始めたのである。然し我々は默々として愼重な協議を進めると共に、昨年の暮日本勞働總同盟より赤松克麿氏を招待して事情を聽取したのであつた。そして今回の發會式を見るに至つた次第である。

我々の組合は各所にその反響を示し、既に其後組合員五百名に達せんとする狀態にある。それと同時に既成團體殊に政治研究會の如きは全く分散狀態に陷つて了つた。我々は漸次内部に産業的整理をなし、取り敢へず鐵瓶工組合、鐵工組合、石工組合、印刷工組合が結成されるに至るであらう。お定連の作つた朦朧團體の中相當實數あるものは先の印刷勞働組合に過ぎなかつたのであるが、我々の擧の企てられるや、嫌て彼等に滿足し得なかつた印刷工同志諸君が起つて結合し我々の組合の一角を形成するに至り、その實數却つて彼等を凌駕する狀態に至つた。何故ならば、彼等が如何に虛大の數を報告した所で、狹い土地の事であり印刷所が定つて居り、内部的に實數が直ちに分るからである。彼等は今や我々を稱して暴力團員と言ひ廻り悲鳴を擧げて居る。彼等は又我々を稱して『日和見主義』だの『裏斬者』だのと頻りに遠吠へして居る。然し我々は未だ曾つて彼等の樣に無産階級の名で寄附金を集め廻つたこともなく、警察に行つてある事無いこと告げ口したこともないのである。最後に今回選ばれた委員の氏名を擧げて同志諸君に多言を謝したい。

村井源次郎(洋服職工)　澤野安太郎(鐵工)　米澤勘一郎(石工)　齋藤德太郎(木工)　杉本正三(餅人代表、寶樂業)　齋藤吉太郎(農業)　熊谷德兵衛(鐵工)　平栗長治(植木職)　松坂由太郎(鐵瓶工)　長澤源吉(印刷工)　橋本茂一郎(印刷工)　中川亮三(鐵工)　吉田耕三(土木業)　玉内武志(上京中)

勞働者の骨

——玉内武志——

奈落の底迄も張り詰めた氷が解け罷る頃から蒙古風が唸り出す頃迄資本家の搾取は最も露骨に慘忍に開始される。滿洲の人は馬賊や土匪とかには無意味な興奮と反感を以て騷ぎ出すが、(自分は奪はれる何物もない者迄)本當の敵であり我々の爲めには本物のパチルスには何等の考慮もしようとはしない。同一に麻藥を飲まされた隣近所では藥の時効と共に大騷ぎを演じてゐるのに此處の人は未だ醒めようともせぬ。我々が此覺醒に窮されてゐた間彼等は如何な事をしたか微に殘る記憶を辿つてみたら誰れだつて戰慄せずにゐられない數々の事實を思ひ當るであらう。今我々は其等の事實を摘錄して忌憚ない發表の自由はおそらく與へられないであらう。よつて私はそれを支那無産者の情況と較べて思ひ合してみたいと思ふ。

先此頃から船毎に積み降される山東産の勞働者は資本家の爲には最も理想的の被搾取の對照者である。何故なら彼等は羊の如く從順で牛の如き勞働力を持つてゐるから彼等は如何なる酷使虐待にも堪え忍ぶべく先天的に性格附けられて來た。又如何なる慘忍的横暴にも只メイファーデズ(致方無い)で甘受させられて來た、眞理、自由、人間性なんてものを求めるには神さまに願かけるよりタヨリ無いものである。

あの時旅順要塞を築き揚げた勞働者達は一人も山を降りたものはなかつた。彼等の妻子がたとえ何時迄待つても歸らぬ筈だ御叮嚀に深い穴の中に白骨となつて埋つてゐたと云ふもの。

青島に於る砲壘を完成した時も慰勞宴に釣られた從業勞働者は船に積まれ出發した切り行衞不明になつて終つた。一人として戻つた者は無かつた想な、恁那話は多々際々である。それ等は軍國主義者の力をかつて演ぜられた劇であるが常に人類の共存共榮を口癖にする滿洲資本家の惡逆非道さを想像するに必要な一部の例を揚げる事にしよう。

王國滿鐵直營の請負人は奉天市内に或る重要なる建築を命ぜられた、幾多の苦力を鞭打して、其建築が竣工したのは蒙古嵐が訪れる頃であつた、彼等は最も廉價な勞金によつて得た若干のもので冬中を過されねばならぬのである。然るに賃金は二日過つても三日經つても支拂はれようとしない。彼等の中には厘毛の蓄え無きものが多い、一日支拂が延びればそれだけ飢えるのだ。彼等は最後の交渉を交した時請負人の答は斯ふであつた。

此方では下請けの者に金は支拂つてある當方には既に責任はないと案外の返事だ。さなきだに飢餓に瀕した彼等は食はすには交渉する元氣が無いのみならず相手は問題にして吳れず苦力頭にせまれば苦力頭は危害を恐れて姿を消して終う遂には各々食を求めに思ひ思ひに散亂する。此筋道の呼吸を資本家の下働きはよくのみ込んでゐる、結極それでケリだ。

一時散亂した勞働者は凍死か餓死か、何れにせよ最大の苦痛を舐めてから後に襲はれる必然的の結果である。それより一思ひに船に積み出されて爆沈させられるか、穴に埋められてツブされた方が仕合せであるかも知れぬ。(滿洲、堀次郎)

犯罪製造業者の群

近來やゝ出色の傾向ある愛知縣の社會運動は、漸進的に歩調を一つにして、赤き共同戰線を整のへつゝあるが、高壓的態度の濃厚なる愛知縣特別高等課は、各署と共に之等の先驅者を權門者流の血祭りにせんものと、血眼となつてゐる狀態だ。中にも特高課の某警部は裁判所の給仕からナリあがり者だけに、女のやうに小心翼々、非人間的頭腦を持つてゐる。この警部〇〇〇〇のために社會運動の戰士が幾多尊き血を流してゐるは、洵にその命を斷ち、肉を食うても足りないと言はなければならぬ。かくて犯罪製造業者の群は、金權に媚び、權門に阿附して、奴制の下にパンを稼いでゐる笑止千萬な圖は、何と見られたものであらうか？　これが爲め、徒らに喧騷なことゝした愛知縣下の社會運動は靜肅に還り、歩一歩、著實に實質化してゆくは、確かにいい進歩的傾向である。小作爭議——勞働爭議も頻發するが、勝利は何日も無産者の榮冠に輝くのだ。阿諛さうに蚤取りマナコで歩くアホダラ警官の顏は、雨催ひの空のやうである。それに近來、これ等の警官が土足で家宅に侵入したりするは、盲目た行爲でなくて何であらう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

我等は之に對して大いに抗議を申し込まなくてはならない。山縣知事は憲政派の議員にホンロウされて、民二千石の俘虜となつてその日を暮らしてゐるが、之等の官僚輩に社會政策が云爲されるさへ兩腹の痛い話しである。愛知縣下の無産青年運動は、官憲の高壓の下に赤く萌えつゝ、やがては丈け高き梁木を生むであらうことを信ずる。（名古屋の片隅にて――豐生）

見よ官憲の非常識

四月初旬から我北條町の支局を設置する事になりました、同志諸君よ何卒青い私を御指導被下。

支局設置の第一盟として最近我茨城縣下に起つた問題の二つ三つを略記して識者諸君の御批判を願ひたいと思ひます。

（一）茨城縣結城郡水海道町郵便局事務員沼尻文耶（二三）は昨年八月中業務上文書僞造横領罪と云ふ聞くだに恐ろしき罪名の下に水海道警察分署の手に捕はれ本年三月中旬まで滿七ケ月餘無實の罪で未決監に投り込まれて毎日毎夜の如く冷酷無情鬼畜の様な警察官に取調べを受苦しめられていたが今回まつたく警察の不明から無辜の民を苦しめていた事が判明し各地方新聞は云ふまでもなく東京新聞も近來の大事件として二段拔三段拔として報導し又當局の役人輩は大いに狼狽し遂にいばらき並に常總の縣下發行の二大日刊新聞は謝罪公告を出した事は茨城縣人の耳新らしい處であるが此處に又も聞すてならぬ人道上赦す可らざる重大問題があるそれは去る三月二十一日夜の出來事である。世のブル連は櫻見の酒に醉つて怪し氣な女の肩にもたれゆめの様な享樂を耽つていた時、恰度其時であつたブル達の樂園常盤公園下の岩間には病と饑と老衰のため歩行の自由を失ないうめき苦しんで居るいともあはれな同邦の老人があつた噫――なんと云ふ矛盾だらうか數間上はブルの樂園其下は食をたゝれ病に苦しめる此の世からの地獄である。

其時、噫……恰度其時であつた此の岩間の入口に突つ立つたのは一人の巡回巡査であつた彼の老人はそれとみるより兩の手を合せ私は大正十年まで北海道に手廣く海産物を商なつていた淺水彌三兵衛（七十）と云ふ者であるが商法の手違で失敗したのでやむなく今度生國廣島縣安藝郡奥海田村に戻る考で水海まで來ましたが金は一文もなく之加に病のためどうする事も出來ないのです何卒私の生家に電報を出して家人を呼び寄せてくれとたのんだが冷血極りなき巡査はフフンと鼻の先で笑つて取り合はなかつたため老人は遂に此の岩間で死でしまつたのである。

讀者諸君よ彼等巡査は自ら人民保護と云ふて居るではないか諸君何處が人民保護だらうか指導者だらうか若し此の巡査に一滴でも人間らしい血が通つていたら此の老人を見殺にはしなかつたであらう、此の事件と云へ水海道分署の人權蹂躙問題と云へ實に彼等は人道上赦す可らざる大罪人である私は正義のため此の横暴無道暴逆極りなき本縣官憲とあくまで戰ふ筈である。（茨城縣　川田紅葉）

吾等の勝利

今月二十一日よりすぐ近くの（三里ばかしはなれて居る）池田町に自動車の運轉手の罷業あり、町民及び吾等の同人（同町の人）及び總同盟の信州交通勞働組合よりの應援により七日間にしてついに勝利をえた。

一、本書の回答は二十四時間内にせられたし

一、各項承認の上は即時實行を望む

要求事項

一、吾等現業員の組織する自治機關を確認せられたき事

二、現業員の組織する自治團體を會社に於て質問上告の機關に指定されたき事

三、事務長中山氏不信任につき即時退職せしめたき事

四、解雇せし黑崎及び平林二名を以前の待遇を持つて復職せられたき事

岡野照治外十四名

此の間社長は辭職した。

二十五日の夜から會社に町民おしかけ二十六日の午前三時頃ようやく解散した。會社の窓硝子はたたきこはし、中には社長と談判する者等あり、此の様な譯で勝利は遂に吾々の手に入つた。（長野、傘木幸盛）

無産者に告ぐ

全信濃の無産者よ全日本の無産者よ！覺めよ！そして起て！そして進め！鬪爭へ〱。宗教が何んだ。道徳が何んだ。現今資本主義社會の善が何んだ。我等には強い信念と正しい道徳があるんだ。資本階級の走狗たる宗教が生んだ道徳がなんだ。その善が何んだ。「勤儉獎勵」か。勤儉獎勵すら聞いてあきれるは。何時まで青血を吸はんと云ふんだ。思想の進歩がある。社會には進歩があるんだ。舊式人形奴。

我等無産者は彼等の爲めに勞働を強制せられあらゆる壓迫を受け、あるゆる迫害を受け自由を束縛されて常に尊い生血を搾取されて居たんだ。そして深い陶醉に陷入れられて居たんだ。

握り潰せ！蹂み倒せブルヂョア階級を！

そして無産階級を解放せよ!!秋は來れり。

見よ！去日の醜議會を――そは一般無産者に覺醒を醒す物にあらずして何ぞ。おゝ白雲の一片滔々として東天に向ふ。盛春の焰の向ふ所熱血の注ぐ所これ即ち我等の一大使命たる社會○○にあらずして何？

雄々しく立つて鬪へ――彼等が如何なる惡辣なる手段を以て壓迫し陶醉させんとすれど我等の堅い決心の赤血の結晶を寸分も傷くるに足らず。身體の束縛はされても意志の壓迫はインポシブルである。

俺は現今青年の餘りの意氣地無さに叫ばすには居れない。檢束が何んだ。現今社會の犯罪が何んだ。

少しも恐れるに足らず。檢束するものもやつぱり無産者だ。最後の勝利は目前にぶらさがつて居るんだ。此間しばらくは彼等の無法出鱈目な○○を恣ひ儘にするがよい。やがて敗慘者になるんだ。俺はあのナムアミだ、アーメンだ、ホーレンギヨウだと泣き事を言ふのを聞いて起たづに居られないんだ。速に宗教の絶滅を期せ、併して科學に立脚して全人類をして自由と平等の社會を建設せしめよ！汝等は何を

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

躊躇して居るんだ。何を迷ふて居るんだ。
進め！ 無産階級闘争の戦線へ！

（工藤勝市）

昨日は東今日は西

俺は其の昔自由の発祥地だと威張つた土佐の山間に住む一労働者だ、俺の村にも昨年九月より耕地整理を初めて、本年貳月迄富山縣の田島組と云ふ請負者に、朝の六時から晩の五時半迄、否時々時計の針をゴースタンさして迄、思ふ存分に搾られたものだ、おまけに、師走の寒空にあの、川風の吹く川原で午後五時から十時迄夜業して五歩役だ、そして日給大枚一圓四十錢だつた、それでも俺達兄弟は默々と働いて居た、おかげで田島組は六萬圓位の工事で一萬圓程も搾り取つたさうな。喜んでくれ俺等兄弟の無自覺を、天下泰平ブル萬歳だ。

されど俺の様な一定の職を持たぬ、自由労は パンを得る為には何處迄も其の搾り主を尋ねて行かねばならぬ、去る二月より西の河官行の植林人夫に雇はれて日給一圓四十五錢下賜されて居る、一體官行は三月より六月迄朝の七時より晩の五時半迄として有るが、實は朝五時半より檜苗を四五貫も背負はされて一里半も有る山の絶頂へ行き七時にならぬ内に、雨でも降つて仕事をせずに歸れば、壹升四十五錢と云ふ米を喰て官の檜苗無料運搬と云ふ有難い特典が有る、實に官行と云ふ處はありがたい處だ、それにわづか廿人位の人夫を使ふのに、定夫や、主事や、雇や技手、等時に依ると五人も來て一々御親切にコキ使ふてくれるから有がたいものだ。彼等が人夫を雇ひに行く日當や車馬賃（歩いても）等を加ふれば日が五圓位に成るさうな。だから近に人夫が有つてもはるばると遠方へ雇ひに行く、有がたいことだ。

折角搾つて腹を張らして置け、人夫賃の上前や車馬賃の只取等では甘い汁がすえん材木商や山師と○○して、永澤營林署の様に不當拂下げをやることだ。

まー一ついでに小言を云つて置く、當安藝營林署の高橋主事は豫備役陸軍少尉殿だが去る三月に聯隊からフクシユーに來いと云ふてきたのに、植林が多忙だからとて、署長を通じて行かずに濟ました。同じ穴の狐とは云へあまり得手勝手であるまいか、諸君如何。

俺は山への行き歸りに○○歌をどなつて此の高鳴る熱血を冷まして居る。

（土佐、犬門名助）

猜土に芽ぐむ

若狹といふ小つぽけな、日本地圖の上にあるか無いかの國にも、「進め」が宣傳せられてから、もう四年經つ。その四年間の苦戰は實に劇しかつたが、それでもその當時は「社會主義」の何ものであるかすら知らなかつた一般民衆が、今日では兎も角も、「社會主義思想」に對して、或は贊成し或は非難し（勿論非難する方が多いが）その度びに「社會主義」「メーデー」など云ふ語が、一般人の耳に親しんで行く。

嘗ては××事件で幸徳秋水と共に斷罪せられた古河力作を出した若狹は、社會運動に左程に縁遠くはない筈なのだ。今では福井水平社が五千人の水平社員を擁して、縣特高課をして、手こずらしてゐるのは痛快だ。その中心とも目す可き福井遠敷水平社は、縣水平社の急進分子の團結で、特にその中でも青年同盟を組織してゐる連中の川口、桝谷、木村、幸池（今は敦賀聯隊で血税を納めてゐる最中だ）の諸君は悉く年少氣鋭、實に水平社ばかりでなく、西部北陸の社會運動闘士の錚々たる者だ。若狹のブル共はこの青年同盟に些か脅えてゐる。遠敷水平社は現に、水平文庫と云ふ共同の閲覧館を設立して、その資金募集中だが、その活動の中心は、やはり青年同盟の連中である。「進め」もこの水平社に多くの讀者を持つてゐる。特に×君の如き、進め創刊當時からの讀者もゐる。また小濱町を中心にして郡部に跨つて、相當の部數が出てゐる。若狹四郡（敦賀、三方、遠敷、大飯）に渉つて、「進め」の讀者は未だ漸くにして五十人位なものだが、今度進め社から山川君が歸つて來て、到處で座談會を開いて廻つた結果、この夏迄にはその倍位にも達する見込みだ。他にマルクス主義や、無産者新聞も相當の部數が秘かに配布されてゐる。

官憲は必死になつて、それを喰ひ止め様としてゐるが、何しろ「社會運動」に悉目盲目の連中が、無暗と走り廻るだけだから、却つて此方の宣傳になるばかりだ。縣特高課長は、もと東京の警視廳にゐた警視ださうで、少しは見當位はつくかも知れないが、その手下連が、昔の岡つ引その儘なのだから、その遣口が却つて世間の物笑ひの種になつてゐる。現に山川君の歸郷中の警戒振りは、笑止の沙汰を通り越して狂氣の沙汰だ。その癖づんづんと尾行は遠慮もなく撒かれてゐる態だ。嘸かし特高課長も、氣の揉めた事だらう。

丁度山川君の歸郷した晩に、農村ブル青年の政治的聯盟の、「壯年同交會」と云ふ協調會の添田敬一郎後援の政治結社の發起人會があつた。四月十六日には小濱驛前の長源寺と云ふ法華寺で、「同交會」の創立大會があつて、早稲田大學から高橋清吾教授を引張つて來て、一場の講演をさせた。高橋と云へば例の大山郁夫教授との經緯から、最近同大學にゴタゴタがあつた、ブル政治學者の一人だ。「壯年同交會」の委員の顔觸れは、悉く土地の富豪や地主の息子連中だ。それでも遠慮して、無産の二字を冠せなかつたのは、未だしほらしいが、協調會の添田の提灯持では此奴は眉唾ものだ。

（福井小濱、坂田利八）

投稿して下さい

一體、社會運動といふものは、都會だけに集中されるものではありません。だが遺憾なことにわ、これまでの社會運動わ、多く、都會を中心にしたものです。

社會運動わ、無産階級のためでありますから、どうしても地方勞働者と提携せねばなりません。この意味におきまして、本欄わ地方同志のために開放しています。それですから、地方無産階級の運動狀態等を、投稿して下さい。なるべく短いものを澤山のせる心算です。取捨の方は、編者に一任して貰ひたいです。

（編者記）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

失業と瞞著的社會政策

岡本陽造

資本主義が最後の發展段楷たる帝國主義に達すると、經濟社會に於ける無政府狀態が、益々露骨に表現されて來る。

近代世界の經濟界を襲へる恐慌は、此の資本主義經濟組織の矛盾から發生したものであつて、其の根本的原因は生産と消費の不均等から・勢ひ生産過剩に落入り、其の結果、此の資本主義の崩壞的原因である所の「恐慌」と云ふ現象となつたのである。此の不景氣の無産階級に及ぼす、影響は少くないが、就中最も直接的に無産階級の經驗するものは失業問題である。

此の失業問題は産業革命以後大工業主義が生んだ資本主義的産物であつて、其れ以前小企業者時代に於ては、浮浪者、貧困者と云ふものは存在して、現代の如く、支配階級の壓迫の下に喘いでゐたとは云へ、其れが近代失業問題の如く、國家的社會的に、重大な意義を持つ程のものではなかつた。

此の失業問題が重大な關係を以つて、全階級に迫つて來たのは、歐洲大戰後の經濟界大混沌以後である。大戰が經濟界に及ぼした惡影響の結果は、失業者の數が加速度的勢力を以つて、全世界の各都市に充滿して來たのである。

資本主義の爛熟期に必然的に起る此の現象は刻々の增加を以つて、兩階級を脅威しつゝある。故に、此の失業問題の無産階級解放運動に與へる影響の甚大なるは云ふ迄もなく、此の問題の解決方法如何、失業其のものゝ變化如何に依つて、又資本主義其のものゝ運命をも決定する、重大な條件となるのである。

失業問題は單に、無産階級に重大な影響を與へるばかりでなく、より緊急な問題として資本主義にも直面して來たのである。ブルジョアは此の不可避的現象である此の問題の根本的對策に、彼等唯一の手段たる社會政策を以つて望みつゝある。而して、彼等の淺薄なる實證主義は、其の統計の微變化を以つて、此の本質的に社會制度の不合理より生ずる害惡が、根本的に改良されつゝあると信ずる。

併しながら、此の失業問題に對する社會政策の具體的方針を見るならば、如何に非永久的、一時的性質のものであるか、否より資本主義的にして、其の道德觀念に於て、無産階級の人格的權利を否定するものであることに驚くであらう。

即ち失業保險、職業紹介所等の設置退職手當、短時間勞働、に依つて、此の問題を解決しやうとするのである。決して、此の社會政策が發達の窮極に越くとも、斷じて、無産階級既定の權利である勞働の全部の收益を認めはしないのである。

元來社會政策なるものは確定した、體系づけられた原理の上に立脚するものではなくて、講壇社會主義者の集りなる獨逸社會政策學會なる中産的知識階級の理論を總合して、其處から出發した、極めて非プロレタリア的なものである。

是の共通した根本原理は、私有財産、經濟的自由競爭を否認せずして、現存社會より發生する一切の社會問題、社會的害惡を、勞資協調と云ふ條件の下に、解決し、除去せんとするものであつて、マルクス社會主義の存在性を否定するものであるは云ふ迄もない。嚴然と存在する搾取階級、私有財産制度、資本主義生産樣式是等を是認した、ブルジョア原理に立つて失業苦の桎梏から徹底的に免れんと欲することは、マルクスの云ふ奴隸制度に立脚して、尙自由を獲得せんとするの愚を敢てせんとするものである。マルクスは云つた、〇〇〇賃銀制度の廢止と云ふ大旗を立てゝ進めと。失業苦の徹底的解決は、資本主義制度の根本的倒壞にある。我々無産階級は、社會政策なるものに欺滿されてはならぬ。メンガーに依れば、生存權、勞働權、全勞働收益權は人類の持つ既定の權利である。社會政策とは何ぞや、此の權利の萬分一を崩壞したに過ぎぬのである。

農村に眼を注げ

深海政夫

今や農村は甚しい荒廢の底に呻吟して居る。全國の人口の大部分を占めた農民は年々減少して行き今は全人口の五割になつてしまつた。資本主義が發達すればする程、農村はより大なる被搾取をされて行くのだ。ブルジョアは自國内の農村を搾取し之を疲弊さした結果他國のプロレタリアを搾取する。帝國主義の各列强が如何にアジアの弱國に對して居るかを見よ。

即ち現代のブルジョアは農村より凡てを奪ひとつてしまつた。敎育も藝術も科學も凡ゆる文化は都會のブルに掻集められる。都會はブルの享樂場と化した。然して其の都會は如何なる姿であるか。人口は無制限に増大し、自然なる美風は破壞され、不德、僞善、人々は神經衰弱となり腐爛のどん底に呻くのである。都會へ〳〵と集中される農村出の青年は如何に氣の毒なものであらう。彼等の故郷は荒され果てた末都會へ追ひ出され、都會では又失業と貧困が彼等を苦しめるのである。

農村は何故荒廢して行く？其の答へは餘りに簡單である。農民は土地のブル（地主達）と都會のブルの二重の搾取を受けて居るのだ。農民は働いて居る。農民より劇しい勞働が他にあらうか。彼等は自然といふ冷酷な相手をも敵とし乍ら、一年中間斷なく勞働する小學校を出ない内に男でも女でも無理に田圃へ出される。『百姓になるには小學校を出てからでは骨が固まつて役に立たん』―之は自分の故郷でよく聞く言葉だ。遊び盛りの少年少女は智識慾盛んな青年達は？娘盛りの處女達は？彼等の慾望は葬られた。悲しい諦めの下に馬の樣に手足が動きさへすればどんな老年になつても働く。働いても〳〵彼等ば食へないのだ。自分の作つた米を高い金を出して買つてるのだ。一年間で取つた米は、年貢米として地主と税金にとられ、僅に殘つた米は肥料代とか何かで高い金でブルから買はされた差引で、ほんとうに殘るものは何であらう。其は只借金と疲弊のみだ。

彼等は人間らしい生活を一瞬間でも送れるであらうか。彼等には敎育はないのだ、僅に授けられるのは僞善だらけの、國家主義觀念を頑迷な小學校で植えつけられ、考へる事も、自分の住む社會をさへ見る暇が與へられない。其の結果大多數の彼等は頑迷であり、因襲的であり、無氣力卑劣であり、稀に自覺した青年が起たうとすれば、危險人物として葬られ孤立させられてしまふ。彼等は自分達が何故斯く不幸であり、又其の原因が何處にある等は考へ樣としない。況して自分達の組織と團結で人間らしい生活、社會全體が幸福になれるなどは夢にも思はない。

彼等を斯く悲慘な境遇に陷入れたのは誰の責か？我々は今華々しい（？）都會の運動よりも先づ未組織の此の農村へくり込んで行かなければならない。過去

プロレタリアの歌へる

長田滋利

山を割るダイナマイトの
爆音の快よきかな
秋晴れの朝。

○

山を割る爆藥に
點火する人の
其の動作をば
ジッと見てゐし。

○

支那人の小供が鳴らす
爆竹の
こゝろく街を
求め歩きし。

○

爆竹の小氣味よき音
聞きたさに
風に吹かれて
さまよひ歩けり。

○

くらがりに
つけしバットの赤き火を
ジッと見つめて
ほゝゑみしかな。

○

カネオクレ
故郷の兄かち
電報が來たけれど
どうにも出來ない俺だ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の先輩達が農村へ這入込んで失敗した點は、農村大衆と離れ過ぎた事が第一原因だつた。忍耐深く深切に我々は歩を進めなくてはならない。無産階級の大半を占むる農民が斯く未啓蒙であつては、如何に都市組織勞働者が訓練されて居ても××の際に其の困難は計り知れない。同時に××に際して最もある重大な位置に置かれる軍隊の、大多數(八割)が農村の青年である事を知つた時、我々は飽く迄農村に力を注がねばならない事を知るであらう。そして組織化されつゝある反動運動から純な農村青年をもぎとる事に全力を盡さねばならない事を知るであらう。

ブルジョアは斷末魔の努力で反動勢力を動員して居る。軍敎、青少年訓練、在郷軍人團、官製青年團等の意識的行動を無産階級に我等は死力を盡して其の眞相を敎へねばならない。反動は要するに反動に過ぎない、反動は因襲を好む封建的墮力であり、歴史の進行性を知らないプチブルの妄動である。イタリーのファシスチの世も決して常態ではない。階級意識と眞の人類解放を知る無産階級の精鋭分子は着々と彼等の牙城へ突入しつゝある。

最後に農村の靑年へ一言呈する。

農村青年諸君、諸君はブル達が藝術だ戀愛だ宗敎だと、騷ぎ廻てるのに、君達は一年中酷烈な自然と生活の脅威とに迫害されつゝ奮闘して居るのだ。

君達が其の赤い太つた腕で、白日の下で鎌を輝す時、避暑中の彼等は、『何て美しい絵でせう、詩でせう』とか言つて居る。君達の戀人は都に賣られ、可愛い妹はあの大工場で骨と皮ばかりに搾り取られ、君達の友人は志を立て都へ行き、年を出でずして病みて歸り、家は赤貧と不平に暮れて行く。

働いた者が食ふ。

其が當然な、眞理だ。が現實を見よ。諸君の小學校三年の弟から、七十の祖母まで働いて働いても諸君は白い飯が食へないのだ。其は一體何の爲めなのだ。

諸君よ！　君達が汗と膏を流して働いた結晶を公然盗む奴があるのだ。君達の友も戀人も老父もみんな其奴らのために斯樣奴隷で居なければならないのだ。彼奴等は絹ぐるみで毎日、今日はどうして搾らう。今日は如何して遊ばう。なんてばかり考へて居るのだ。

諸君そして彼等は、其の狀態を續けて行く爲めに、軍隊と敎育とそれから政治機關まで持つて居るのだ。彼奴らは君達を欺くには實にいゝ事を知つてるぞ。

民心振興、農村救濟等々、君達は欺かれちやいけないぞ。諸君は先づ我々が住む此の社會を科學的に解剖してくれ。科學的な解剖に於てのみ、我々は如何にして斯くまで我々無産階級を不幸にした其の原因と、無産階級の眞の解放運動の眞理を握るであらう。

諸君！君達の前途は實に不斷の闘爭に充ちて居る、大膽で忍耐強く、そして團結といふ一語を忘れないで突進しやうではないか。一●一二●

巡る小車

討閑で儲けて一つ、駒澤で、鶏と子
宮の匂ひ嗅がんとぞ思ふ（中）

○
借金と病氣に
苦しむ兄上の
夢を見たけれど
涙出でざりし。

○
ピストルの密輸でもして
金儲けしたいものだが
する　もとで
なし。

○
街頭に立てる巡査よ
街頭を
さまよふ俺よ
風荒るゝ夜。

○
ニイサンノセイコーヲ
オマチシテキマス
小さきたより
涙する俺。

○
何事かあれよと
祈る寂しさの
かなしき俺を
人よ　にくむな。

○
ぼうぼうと伸び行く髪の
伸ぶまゝに
任せ置く心
かなしからずや。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

幽靈の正體見たり共產黨

一

一九二六年。四月五日。所謂日本共產黨事件の上告第一回公判が東京控訴院、第三號法廷で開かれた。事件の内容は事新しく筆者が詳報するまでも無く、讀者諸公の先刻御承知の事と信じて省略する。

而うして一切合切の理論を省き、公判の我等に與へた印象を、ここに抄錄するに止める。

由來、無產階級解放運動は、資本主義制度の弊害の許す可からざるに目覺め、これに反逆挑戰して起てる、高潔なる社會的志士の陣營戰列の春眞なる分子に待つ事大なるものであり、此の戰列の一小隊であり、また一分隊であると信じ、所謂共產黨の諸君がその戰列の當然の義務を果す可く武運拙くも敵將の面前に引据えられたる俘虜として、堂々たる態度を以つてその不當なりとする公判に臨むであらうと想像せる筆者の餘りに愚かなりしを愧ずる。

新聞は報じて、裁判官も被告も、「だれ氣味」なりとして多くを書かず、或ひは全然無視せるものすらあり、只何となく「あつけなさ」を感ぜしめたと云ふ事は、當時傍聽者の如何に尠なかりしかに依てその人氣なさと共に知らるゝのである。

被告席に座せる所謂日本共產黨の諸君が、傍聽人に與へた感情は「卑怯さと圖々しさを交互に織り交ぜた、憐む可き、而も不統一なるグループよ、咄！」で盡きる。

檢事は例によつて惡々しく落着いてゐる。判事は公明正大お利巧さうに世渡り上手に被告を見降してゐる。福田氏の謂所芋の兒黨員はごろ〳〵と低い場所にならんでゐる。首席判事が此の芋の兒に何かたづれる。すると芋の兒が低聲でおづ〳〵と何かお答ひ申し上げる。お答ひが終るとフザケ切つた調子で仲間の者と何か話す。高瀨清君などの態度と來たら如何だ。傍聽席に御座る眞柄夫人の手前もあらうに、今少しく愼重なる態度を持するが至當であると考ひないか。革命に失敗しても戀に成功した、當分は社會運動なんぞ御無沙汰致しませうと寢物語りの原案通過でもあるまい。鬼瓦の樣なお面の浦田武雄君、呼ばれると低い聲でお辭儀をし乍ら起立してしどろもどろ、たぢたぢしながらお答ひ申し上げる。それが濟めばナアニと云つたやうな調子で鼻の頭へ薄笑ひを浮び乍ら振り向ひて仲間とさゝやく。荒畑勝三、佐野學、既に罪に服し堺利彥氏外二十名中出席せるもの、十三名。審問に對する應答に現はれたる男らしさは、堺氏の家康タイプな否認吉川、橋浦二氏の男性的應答に過ぎない。

斯くて緊張味を缺ける裁判のつまらなさを感じた多くの人々は傍聽の席に座するの不快をすら感じた。第一回の控訴公判は、こうして終つた。

二

皇紀二千五百八十六年、四月九日、所謂日本共產黨秘密結社事件公判が再び東京控訴院第三號法廷に於て開かれた。被告堺利彥氏外二十名（德田球一近藤榮藏二氏を除く）の顏がならんで、謂所共產黨中の錚々たる人々が、資本主義國家の不公平なる斷罪を待つてゐるのである。筆者は傍聽の席に座して漸次默想せざるを得なかつた。人道よ！　義を見てせざるものに何の勇かあらう。立場こそは異なれ、曾つては無產階級戰線に步調を共にした同志の人々である。『討閥』の立場よりすればこそ惡む可きの者。戰列に於ける功名爭ひ、勢力爭ひは別の問題である。敢て筆者は『討閥』の不必要を云々するものではない。人間間に武士道あれと主張する。

謙信が甲州へ鹽を送つた事に依つて、後世の物笑ひの種となりはしなかつた。信玄死するを知るや、好敵手逝くかと箸を投じて嘆聲を發した。謙信の名將たる所以はこゝにある。

所謂日本共產黨の上に打ち降ろされたブルヂョアヂーの策鞭は、既に幾度か僕等の上へも加へられた。彼等の鋭い眼は不斷に我等の心臟を睨ひ、隙あらば、物見せんと勉めてゐるのだ。

果然、裁判は緊張味を加へた。田所輝明君の沈痛なる陳述は、未決拘留時の司法官の冷血殘忍なる仕打を遺憾なく物語つた。檢事局が否でも應でも山川均氏を牢獄へ引きずり込まふとする努力。極力山川氏を救はんとする同志の苦闘、檢事の明快なる論告（敢へて明快なと云ふ）布施氏の不明瞭なる而も堂々たる辯論。小岩井氏の若い辯護士の初々しい物足りなさ、山崎氏の簡單明瞭、痛快なる辯論。山川均氏辻井民之助君等の陳辯、等があつて判決申し渡しは四月二十八日とある。閉廷は七時過ぎて、窓外は暗く、開き初めた櫻の花が、ぼんやりともつた電燈に浮かし出されてゐるのであつた。

三

立場は遂に哲學を生む、主觀は常に此の哲學の母胎である。そうして此の哲學は眞理では無い。主觀の固定である。我等は常に此の主觀の固定性から脫却する事を工夫せねばならぬ。そうでなかつたならば我等は永遠の井蛙であるに過ぎぬ。眞理の大海を知らずしてあわれなる喧擾を續ける愚者に過ぎないではないか。國家主義の哲學、社會主義に潛む無政府系、共產系の哲學、何の哲學彼の論理それ等の果はしきものゝ中に裁判官的硬化頭腦症が、若しあるとしたらこれ程危介なものはなからう。公平なる立場から考ひて我等は所謂日本共產黨の申分を信ずる事も出來ぬと等しく、檢事局の言ひ分をも信ずる事が出來ぬ。

我等は一度び共產黨を怯なりとし、二度び政府當局を卑しとする。

世界の天地を徘徊する一個の怪物、共產主義の正體を捉ひんと努むる世界の權力者よ、思想は人に非ざるなり。誰か烏の雌雄を知り幽靈の正體を知らんや。

一九二六年四月、共產主義の幽靈につかれた堺利彥氏外二十名はその正體として日本の牢屋に繫がれんとしつゝある。

（K・M生）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

進め・講座

社會主義講話（三）

石川準十郎

社會主義の期する社會の仕組の理由

（社會に貧乏の存在する理由）

社會主義は、前述の如く、何より先づ今の社會の經濟的仕組をば根本から變へんと、即ち（1）生産機關を公有にし、（2）生産を公營にし、（3）分配を公制にせんとするものであるが、社會主義がこの様な社會の經濟的仕組を志す理由は、今の社會に何が故に貧乏が存在するかを知る時に、始めて成程と肯かれる。然らば今の世の中には何が故に貧乏が存在するのであるか？

或る人々は言ふであらう——それは分つてる、人口が多いからだと。かつて昔英國のマルサス（マルクスとは違ふ）と言ふ學者は、人口は幾何級數的に、（二倍〳〵と）即ち一、二、四、八、一六と增加して行くのに、食物は算術級數的に同數を加へて行く、即ち一、二、三、四、五としか增加し得ない、だから世の中には貧乏が免れないのだ、と云つたものである。が、この說の誤りであることは今では普ねく知られて居る。その後の歴史的實驗に依ると、人口は決して幾何級數的（ネヅミ算的）に增へなかつた許りか國に依つては人口は減退の傾向を示して來て居る、尤もそれには種々の理由があるけれ共）、食物乃至富の生産力は算術級數率所か、幾何級數率も超して、物に依つては何百倍、何千倍と云ふ發達を示した。之を要するに、生産力は人口に比較して、比較にならない程增大して來て居るのである。

（一）日本は年々七十萬人の人口が增加して行つて居ると云はれる。然し、この人口の增加はたゞそれだけでは、何等日本と云ふ資本主義治下の一社會に於ける貧乏存在の理由にならない。日本は日清、日露の役この方どれ程人口が增加したかは詳かでないが、恐らくその人口の增加に何十倍、何百倍して生産力の增加して居ることは、爭はれない所である。（此種の統計は日本には未だ發達して居ない）

（二）生産力の大小には自然條件も關係して來る場合があるが、（例へば氣候の如何、土地の肥沃程度の如何等）人間の側からだけ言へば、生産力は勞働方法と勞働要具との二つに依つて決定される。隨つて、生産力とは要するに勞働の生産能力のことである。所で、如何に勝れた機械でもその使ひ方が惡い時には、決して充分の効果を擧げ得ないと同様に、この勞働の生産能力も、それが如何に發達して居た所で、その運用方法が惡ければ、社會に何等それだけの効果を齎らさない。否それ所か、却つて惡い結果を齎らすことになるかも知れないのである。今日の資本主義は要するにそれであることは、追つて分明して行く所である。

然らば、斯く生産力は人口に比較して比較にならない程增大して來て居るにも拘らず、その今の世の中に何故貧乏が存在するのであるか？何故にその大多數の人々は『働け共〳〵』その生活樂にならないのであるか？——それはそこにある大きな不合理な事が行はれて居るからに外ならない。その大きな不合理の爲に今日社會の大多數は貧乏に苦んで居るのである。それは何んであるか？

今日貧乏の原因となつて居る所の不合理は、大體これを二つに分けて考へることが出來る。（一）階級的搾收と（二）社會的無駄とである。この二つが今日大規模に行はれて居るために、社會の大多數は依然として貧乏の中に苦んで居るのである。以下我々は順を追ふてこれを研究し

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

よう。

(A) 階級的搾取

(1)搾取の意味

搾取とは要するに、他人が働いて作り出した所の物を合法的に（法律の認める所に從つて）取ることを云ふ。

因に法律には成文律と習慣律（不文律）とがある。

この搾取はこれを盗取即ち盗棒と比較して見る時に、殊にその意味がはつきりする。盗棒とは他人の所有する所の物を非合法的に（法律に反して）取ることを云ふ。搾取と盗棒とは、合法的に取ると非合法的に取るとの相違並びに、他人の作り出した所の物を取ると他人の單に所有する所の物（何人の生産せるとに拘はらず）を取るとの相違があるが、然しその共に他人附屬關係の物を取ることに於ては同一である。

所謂戰國時代の如き場合にあつては掠取と盗取との區別は必ずしも明らかでない。武士階級（當時の支配階級）は平常平民階級より一定の税を徴したのみならず即ち搾取したのみならず、必要に應じては何時でも暴力を以て財を强掠徴集した。この場合彼等の行爲は强盗であるが、搾取であるかを

(2)有産者と無産者

所で、今の世の中はこの搾取の世の中である。この搾取が今の社會の全底面に亙つて大規模に行はれて居るのである。

人類の記錄されたる歷史はこの搾取の歷史である。而してこの長い搾取の時代は通常三期に分たれる。(一)奴隷制時代（古代）、(二)農奴制時代（封建時代）、(三)賃銀制時代（今日の資本主義時代）の三時代である。即ち今の時代はこの第三期の搾取時代である。而してこの時代を以つて人類の搾取時代は永遠に終りを告げるものとされる。

然らば、今の世の中に於て如何なる過程に依つてこの搾取が行はれて居るのであるか？

今の世の中には、生産機關を有する者と有しない者とが存在する。この事實は何人も打消すことが出來ない。前者は所謂ブルジョア階級（資本家階級又は有産者階級）であり、後者はプロレタリア階級（勞働者階級又は無産者階級）である。而してこの無産者階級は何處の國でも大抵全人口の約九割を占める。

富が如何に社會の一方に集中されて居るかの試みに、英國のチオザ・マニーと云ふ人の一九〇八年に於ける統計を擧げて見る。『一九〇八年に於ける英國の人口は四千三百萬人であつて、財産の總額は百三十七億六千二百萬ポンド（一ポンドは日本の十圓に相當す）であつた。所で、その全人口の內約四百萬人の人口がその全財産の約三分の二を有し、殘りの三千九百萬人は三分の一を有してゐた。換言すれば、富者一人に對し貧者が九人の割合であつた。これによると、富者は一人につき平均二千二百九十三ポンドを有し、後者は一人につき平均百十一ポンド餘を有する譯である。けれ共實際には又、その三千九百萬の貧者階級の內約千五百萬人は殆ど何等の財産をも有してゐないといつてもよかつた。』

日本に於てはこの種の調査乃至統計は發達して居ないが故に詳かでないけれ共、大體同樣であらうと思はれる。

斯樣に富は著しく社會の一方に集中し、從つて殊に生産機關は著しく少數者の手に占有されて居るのである。

(3)無産者の生活方法と剩餘價値生産

所で、その生産機關を有しない所の階級の人間は、如何にして生きて行くのであるか？唯一つ、勞働力を賣つて食つて行くより他に道はない。

農業に於ては、無産者は有産者から土地を賃借して生きて行くのであるが、理屈は大體同じことである。

今の世の中に於ては、勞働力も一種の商品である。資本としての貨幣を有する所謂資本家は、この勞働力をば、その志す生産に必要な他の商品（機械、原料、助成材料等）と共に月いくらといつて買入れて、これをその生産行程に於て消費するのである。即ち、働かせるのである。而して、斯くすることによつて資本家は、新なる生産物を作り出してこれを商品として賣るのである。即ち、資本家は貨幣を以て商品を買ひ入れ、その商品をば生産行程に於いて生産的に消費することによつて新なる商品としての生産物を作り出し、これを又賣つて貨幣と取換

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

へるのである。これを圖表にして示せば次の如くである。

貨幣——商品——貨幣

所が、この前の貨幣と後の貨幣とは、貨幣は共に貨幣であるが、その價値の大きさが違ふ。前の貨幣と後の貨幣とが同じ價値であつては、資本家は折角生産を營んだ意味が無くなる。資本家はこんな間拔けたことはしない。これ位なら貨幣をば只寢かして置いた方がよいのである。資本家は、後の貨幣は前の貨幣よりその價値大であり得ればこそ、商品を買ひ入れてこれを生産的に消費し、これによつて新なる商品を作り出すのである。所で、後の貨幣が前の貨幣より價値大なる爲には、新に生産された商品のその生産のために消費された商品よりも價値が大でなければならない。だからして、先の圖表は實に次の如くなるのである。(點線は生産行程を示す。)

貨幣——商品……〔商品＋(商品)〕——〔貨幣＋(貨幣)〕

この前より餘計な分の價値を稱して所謂剩餘價値と云ふのであるが、然らば、資本家はこの剩餘價値を如何にして導き出したのであるか。——それは實に先に生産機關と共に買入れた勞働力の生産的消費からに他ならない。

(4)剩餘價値の源泉及びその行衛

一體人間は其勞働によつて、その生存のために消費するよりもより多くを生産することが出來るものである。随つて何時の時代に於いても剩餘生産物即ち剩餘價値は生産されることが出來るのである。人間の勞働にこの剩餘價値を造る力があればこそ、今日の如き進歩社會を來したのである。而して、剩餘價値を作るものは勞働以外に何物もない。勞働は剩餘價値の唯一の源泉である。

所で、資本家はこの勞働(嚴密には勞働力)をば、先に機械、原料、助成材等の他の商品と共に、丁度その生産價値即ち勞働者の生存費の程度で、之を買ひ入れて居るのである。勿論、ある勞働者はその標準的生存費(彼及び彼の家族を養ふ費)以上に貰つて居るかも知れないが、其の代り他の勞働者は殆ど其の標準的生存費以下の生活に沈淪して居るのであつて、平均的には勞働階級が丁度生きて行くことが出來る位を與へられて居るのである。之を要するに、資本家は勞働者に對しては丁度生きて行くに必要な五だけのものを拂ひ、然も十のものを生産させて居るのである。換言すれば、勞働者は賃銀として三圓を貰つて、實は六圓だけ生産して居るのである。殘りの三圓即ち剩餘價値三圓は何處に行くか？いふ迄もなく資本家の手に收められるのである。即ち、搾取されるのである。

人間は彼自身の勞働に依つて生産し蓄積し得る剩餘價値の大いさは、一生一代を通じて知れたものである。現今の資本家階級の富なるものは斯の如く、自分自身の勞働に依つて作られたものではなくして、實に他人の勞働の成果を搾取することに依つて出來上つたものである。即ち、全く不勞所得より成るのである。我れは次に暫らくその具體的考察を試みやう。

(5)資本家階級の富の由來及び性質

天下にその大を誇る三井、三菱の富の如き元よりこの搾取の結果として出來上つたものである。『三井、三菱の富は殆ど一代にして作つた』ものとかよく言はれるが、學問的嚴密にはそれは、一代にして作つたものではなく、一代にして他人の物を取つたものである。だからして感嘆するなら『一代にしてよくあれ程作つたものだ』と嘆ずべきものではなく『一代にしてよくあれ程他人の物を取つたものだ』と嘆ずべきものである。我々は今少しくその立ち入つた研究をしやう。

三井、三菱の當代(現在の主人公)が、その青年時の或時に於て一萬圓を有して居たものとする。この一萬圓は彼が自分自身の勞働に依つて働き出した剩餘價値の貯蓄の結果であつても、或ひは又先代から貰つたものであつても、或は倘又他人から搾取したものであつても、問題には關係がない。我々は暫らくそれが彼自身その勞働に依つ

て働き出したものと假定する。所で、彼はこの一萬圓を以て或事業を始めたとする。そして彼はその一萬圓の中、五千圓を生産機關に投じ、殘りの五千圓を勞働者を傭ふに即ち勞働力に投じたとする。勞働力の生産的消費は剰餘價値を生む。この剰餘價値の率を十割とすれば、新に作り出される剰餘價値は五千圓である。從つて、彼は或一定の期間の後には一萬五千圓を所有することになる。彼は又この一萬五千圓を再び同樣に投資する然る時は、同樣にしてその一萬五千圓は今度は二萬二千五百圓となつて出て來る。同樣にして三回目にはその二萬二千五百圓は三萬三千七百五十圓となる。今一回の期間を假りに二ヶ月とするならば、彼は六ヶ月の後には、最初の一萬圓の代りに今や三萬三千七百五十圓を所有することになるのである。斯くして同樣に次から次へと無限に同樣の廻轉が反覆され、その度毎に資本は增加して行く。資本家階級の所有する富なるものは凡て斯の如くにして出來上つたものである。換言すれば、資本家階級の致富なるものは全く搾取に由來するものである。

(6)勞働者階級の貧乏の必然

斯の如き經濟的仕組の世の中に於て、無産者即ち勞働者が働いても〳〵貧乏するのは當然なのである。彼等は彼等の生活を支へるに必要なより遥かに多くを作る。けれ共その多いだけの分は皆資本家乃至有産者の手に吸ひ取られて行くのである。それのみではない。彼等は資本家の任意に依つて、剰餘價値を取り上げられる所か、何時でも全く仕事を取り上げられて、所謂失職と飢餓との荒野に彷徨する有難い權利を有して居るのである。そして、斯くし斯くされることは今の世の中に於ては合法的なのである。然しそれは斷じて合理的ではない。

次に我々はこの階級的搾取と相並んで今日の社會に於ける貧乏の二根本原因をなして居る所の社會的無駄について見よう。

剰餘價値は、利子、利潤、地代等となつて有産者の間に分配される。

本講『社會主義の期する社會の仕組の理由』は一回で終へる豫定であつたが都合上二回(或は三回)に分載することにした。(未完)

桑田次郎編述

電車ストライキ

四六版約八百頁　定價貳圓　送料二十錢

本書は昨年大阪に於ける大阪市電ストライキを中心として、其他最近京阪地方に勃發したる交通勞働に關する爭議及び罷業の明細なる眞相及顚末の記錄書である。內容は前後二編と分ち、前編には一々其の爭議の詳細なる顚末をのべ、後編は主張批判感想編として、組合代表者、社會運動家、社會主義學者、五十餘氏の痛烈なる批判、感想の檄文が連ねてある。

桑田次郎編述

南海の勞働運動史

四六版三百三十頁　普及版八十錢　送料十錢

現實に囚はれるのは恐だ。併しわが勞働運動の歷史と現狀を知らずして、社會問題の解決を叫ぶのは無暴も甚だしい。我國最初の純勞働者の書いた勞働運動史である本書を讀まずして、社會問題を口にすること勿れ!!

發行所　東京市京橋區銀座弓町一番地　クラルテ社

本社でも取次販賣をいたします

文藝戰線

◎每月一回一日發行◎

本邦唯一の無産階級文藝雜誌

◎定價廿五錢送一錢◎

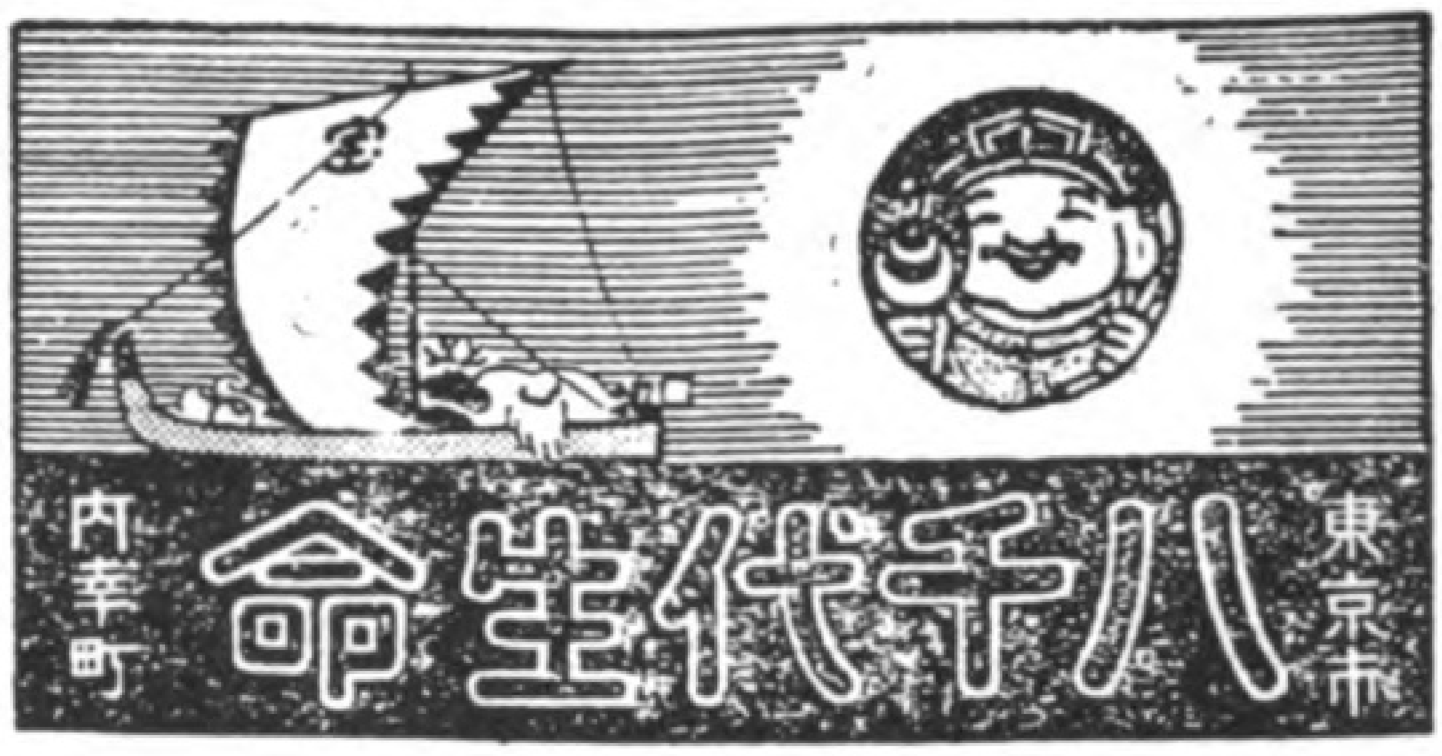
東京市外雜司ヶ谷金山

文藝戰線社

振替口座東京五九三八七

進めの讀者に限り見本進呈但し申込は往復葉書に限る

蝙蝠印
揮發油
日本石油株式會社



クツとカバン
銀座の青木

解放

解放群書擇取壹圓

(1) 創作集 月夜の喫煙
(2) 青野季吉文集 解放の藝術
(3) プロレ路大家 最近傑作集
(4) 山田清三郎新作小説集 幽靈讀者
(5) 幸徳秋水隨筆

◇五月特輯號 特價六拾錢（郵税貳錢）

◇産業別合同への道…河野密
◇藝術進化と変遷の形相　鈴木厚
◇憲本安協の根本意義…白柳秀湖
◇レーニン追想…佐野學
◇支配階級沒落の行程…尾池義雄
◇日本勞働祭史　堺利彦

日四比研
記編較究

◇會社重役の……薦田安一
◇貧乏文士の……新居格
◇牛臭坊主の……津田光造
◇立ちん坊の……加藤昇

大附録！特輯—デー
社會運動團体現勢年鑑

▼メーデー小感……赤松克麿▲
▼マルクス十二講……岡陽之助▲
▼ピリニヤークの藝術……尾瀬敬止▲
▼歐米紹介の日本文學……吉岡青村▲
▼明治初期の百姓一揆……梅原北明▲
▼「解放の藝術」序文……青野季吉▲
▼『月夜の喫煙』合評……十數諸家▲

創作傑作

◇俺は淋しい、…水守龜之助
◇勞働者のゐない船…葉山嘉樹
◇舊友…新井紀一
◇スペイの寫眞屋…北山哲平
◇シューピン作 巡禮…原田健生譯

◇解放社（芝新櫻田町十九 振替東京三六八四四）（電話銀座二〇七七）

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
大正十五年五月一日發行
毎月一回一日發行
定價 一部十錢(税五厘) 半年六十錢 一年一圓(税共)
廣告料 一行一圓 一頁三百圓
發行所 東京市神田區猿樂町二ノ一(振替東京六八九五三) 進め社本部
發行兼編輯印刷人 渡邊理治
大阪市東淀川區十三南之町 大阪營業所

消化と
兩博士方劑
仁丹
懐中良藥
毒けし

金銀
白金
東京市神田區松田町
徳力本店

お買物は三越

三越には日常生活の御必要品は大低御座います
良い品は東京に限りますが東京でも三越の品ならば御安心であります

品は良く、價は廉く、品數は豊富

三越呉服店
◇東京駿河町◇

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN